

~~注　意~~

２８．１０．４１８００ｃ
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７２４号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
(1)　情　勢
(2)　本日の活動成果
(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
(1) 本日の成果
　　活動概要
(2) 明日の活動
　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
(1)　気　象
(2)　暫定政府樹立までの主要結節
(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　日本隊に及ぼす影響
(4)　部隊配置状況
(5)　タスク現況
(6)　警備の態勢

1　本文（要約）

凡例　赤字：変化事項

1　情　勢

(1)　全　域

ア　和平合意関連

和平合意は、ＪＭＥＣによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において提示された全ての要求に取り組むことを合意し、何らかの進展はあるものと思料

加えて、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第１副大統領派がキール政権に対する武力闘争も辞さない姿勢を示したことから、ＳＰＬＡ－ｉＯ指導部の分裂、ＳＰＬＡに統合されていたＳＰＬＡ－ｉＯの一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部、西部及び南部においてＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯの小規模な戦闘が発生、特に、南部地方においては、ジュバクライシス以降、ＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯ等との間での戦闘が継続しており、報復及び治安の悪化は継続するものと思料。また、マシャル氏の国外逃亡により大規模な部隊移動及び戦闘の公算は低下していると見積もられるが不安定な状態が継続

イ　その他の情報資料

ＵＮＤＰＫＯ及び安保理からＵＮＭＩＳＳマンデートの妨害に関する懸念やマシャル氏を政治的指導者と認めるととられるような発言が表明されるとともに、南スーダン政府側からはＤＲＣ（コンゴ民主共和国）でのＵＮによるＳＰＬＡ－ｉＯの救助支援に対する不満が示される等、対ＵＮ感情は悪化していたが、ＵＮＭＩＳＳのマンデート修正に関する調査団の来訪及び制裁専門家パネル委員会の報告後に、キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めており、対ＵＮ感情の変化には注視が必要

(2)　ジュバ市外

ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせてはいるものの、ジュバ郊外、特に、イェイ及びカジョケジでの小規模なＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯの戦闘及び東エクアトリア一帯での武装集団による車両への襲撃事案が継続、また、[redacted]しており、郊外への移動には危険が伴う可能性

凡例　赤字：変化事項

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、経済は低迷（闇：1$=75SSP）し犯罪等が発生しやすい状態であり、夜間の治安機関によるパトロールが強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きＳＯＦＡ違反の発生状況に注視

[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、[redacted]が得られ、ＵＮハウス周辺における草刈り、ＵＮＭＩＳＳによる徒歩巡察等が開始されたものの、[redacted]が発生しており、各種活動時には流れ弾及び巻き込まれには引き続き注意が必要

ＵＮトンピン内のＩＤＰ移送及び退去は９月２８日をもって完了し、ＩＤＰはＵＮトンピン内には所在していないが、遺棄物品や汚染された土壌には注意が必要

(4)　ウガンダ

２０１６年２月の大統領選及び５月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、７月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、１０月３日にも野党党首がカンパラで会見を開く予定であることから、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及びＳＰＬＡによる検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動するＳＰＬＡ兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

３　本日の活動成果

(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築、英軍ＬＯプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区における給水活動（成果：１２ｔ）

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　施設活動

ａ　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

ｂ　ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区におけるルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築

ｃ　英軍ＬＯプレハブ構築

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区内におけるプレハブ構築

ｄ　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

ｅ　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

(ｲ)　インフラ整備

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

情報班をもって、ＵＮトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

a　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区及びＵＮハウス地区における業務調整

b　隊本部をもって、日本大使館における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

a　本部付隊をもって、宿営地管理業務

b　第１施設小隊をもって、宿営地整備

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊長による、ＵＮハウス地区における[redacted]への参加

(ｷ)　隊本部をもって、ＭＯＶＣＯＮにおける輸送業務調整

(ｸ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内におけるＵＮからの資材調整

(ｹ)　隊本部等をもって、ジュバ空港における国連休暇取得者の送迎

(ｺ)　隊本部をもって、ジュバ市内における会計業務及び補給業務

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

3　明日の活動予定

(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、英軍ＬＯプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　施設活動

a　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

b　英軍ＬＯプレハブ構築

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区内におけるプレハブ構築

C　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

d　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

e　ＵＮトンピン地区道路整備

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における道路整備

(ｲ)　インフラ整備

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動

ｂ　隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区における高官対応のための施設現場事前予行

(ｲ)　業務調整

隊本部をもって、ＵＮトンピン地区及びＵＮハウス地区における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊本部をもって、ジュバ市内における市内研修のための施設偵察

(ｷ)　隊本部をもって、ジュバ市内における銀行業務

(ｸ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区における週工兵会議に参加

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

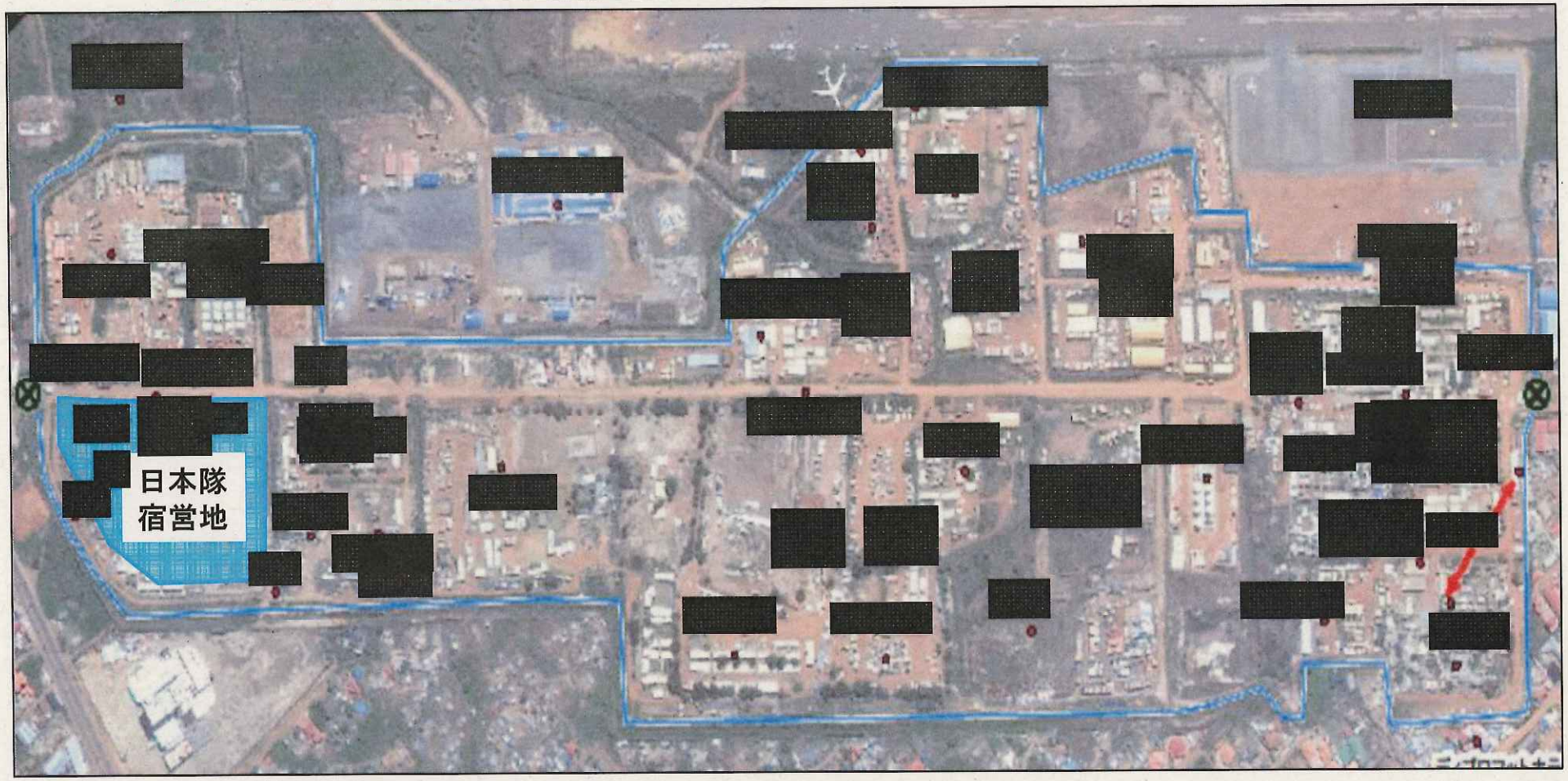
活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１１	高機×１、中型×１ 油圧×１、ＲＯＶ×１	
②		ルワンダ歩兵大隊 弾薬庫土塁構築		０８００－１６００	ルワンダ歩兵大隊	１２	中型×１、クレーン×１、 油圧×１、バケット×１、 特大型×１、ユニック×１	
③		英軍ＬＯプレハブ構築	１小隊	０８００～１６００	エチオピア 歩兵大隊北側	１５	高機×２、大型×２ ＲＯＶ×１	
④	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット ネパール歩兵中隊	２	給水車×１	
⑤	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	バングラ河川隊	２	給水車×１	
⑥		業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	５	小型×１	
⑦		業務調整（輸送）	隊本部 （Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	２	小型×１	
⑧		ＵＮ資材受領	隊本部 （Ｓ－４）	０８００～１２００	ログベース	２	小型×１	
⑨		広報活動	隊本部 （広報）	０７４０～１６００	ＵＮトンピン内	２	小型×１	
⑩		情報収集	情報班		ＵＮトンピン内			
⑪	施設	宿営地整備	１小隊	０８００～１６００	宿営地	１４	小油圧×１、資材運搬車×１	

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



⑨	広報活動
⑩	情報収集

別紙第１－３

活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０７３６～１６３０	ＵＮハウス西側	２０	高機×3、大型×2 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②	施設	ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７３７～１６３０	弾薬庫	１８	高機×2、大型×1 特大型×1 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
③	その他	[redacted]	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３）	０７３５～１２００	ＦＨＱ	3	ランクル×1	
④		業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０７３８～１３００	工兵課	4	高機×1	
⑤		広報活動	隊本部 （広　報）	０７３８～１３００	ＵＮハウス	2	高機×1	

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－４

活動概要（ＵＮハウス）（４／７）



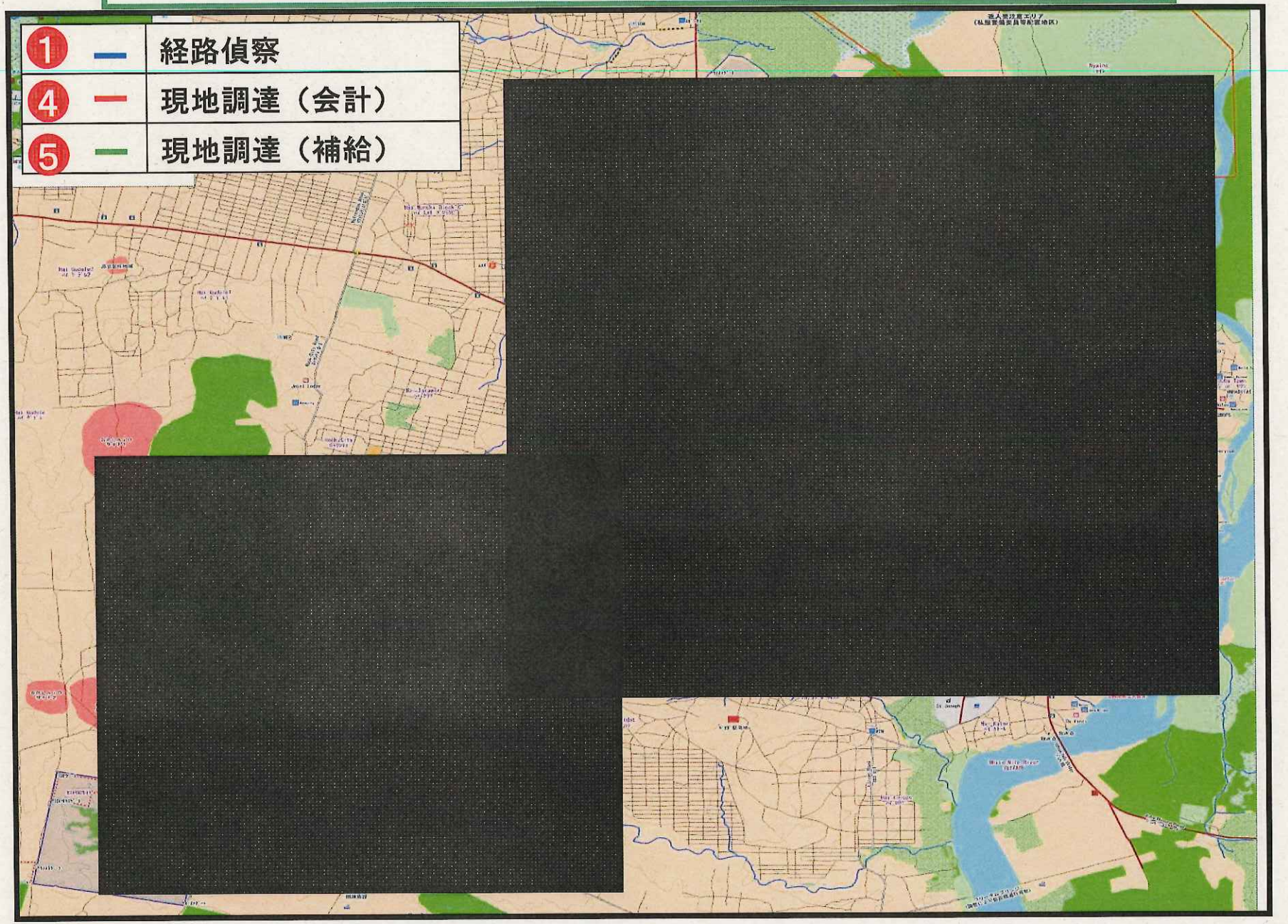
別紙第１－５

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２） 警務班		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③		国連休暇者送迎 （５Ｇｐ）	隊本部 （Ｓ－１） 付隊本部 ２小隊	０９３０～ １１３０	ジュバ空港	４２	ランクル×1、大型×2	
④	その他	現地調達（会計）	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～ １６００	ジュバ市内	２	高機×1	
⑤		現地調達（補給）	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～ １６３０	取水点	３	高機×1	
⑥		日本大使館との業務調整	隊本部 （Ｓ－３） 警護班	１３３０～ １７００	日本大使館			

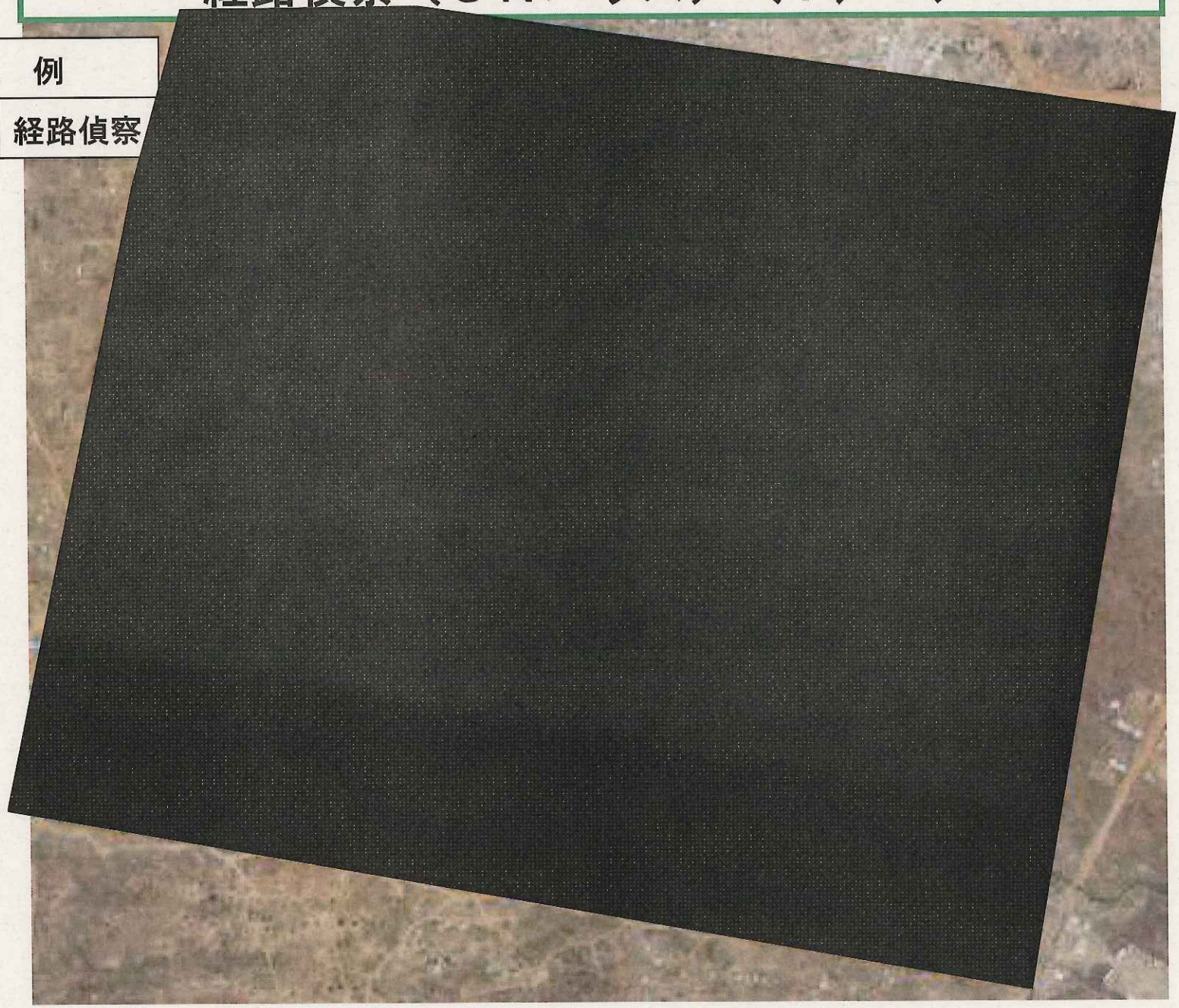
別紙第１－６

活動概要（ジュバ市内）（６／７）



経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）

凡　例	
――	経路偵察



本日の活動成果

ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築

活　動　前
施設器材小隊【10.4 0800現在】

NO PHOTO

活　動　中
施設器材小隊【10.4 1300現在】



[redacted]

[redacted]

活　動　成　果	
累計：[redacted]	ヘスコによる土塁（防護壁）構築

本日の活動成果

UNトンピン内退避壕構築

活　動　前
施設器材小隊【10.4 0800現在】



活　動　中
施設器材小隊【10.4 1400現在】

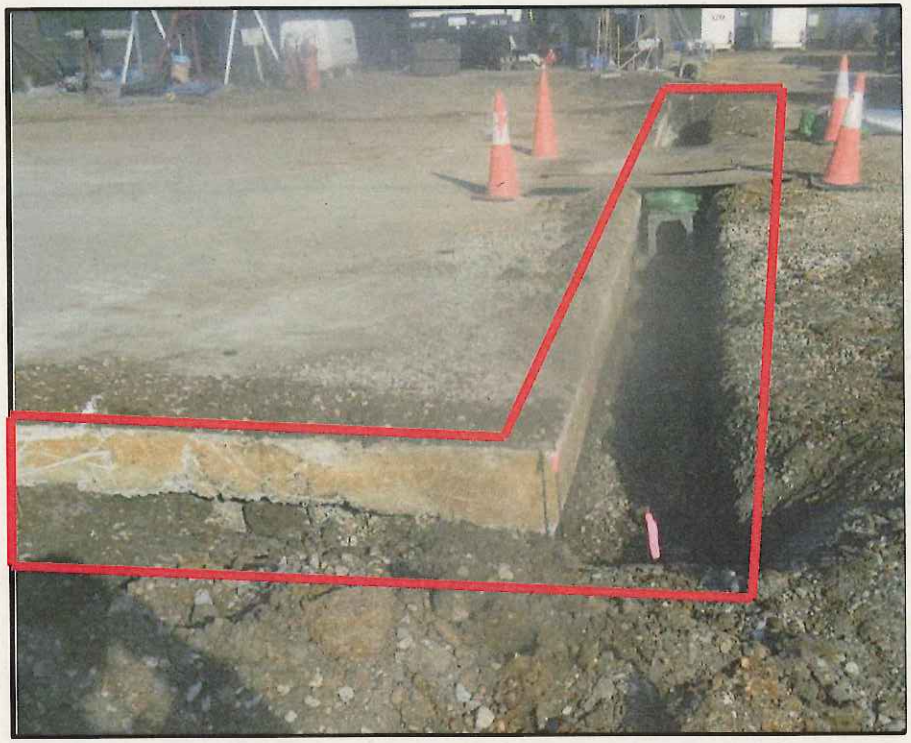


活　動　成　果	
進度：[redacted] 累計：	型枠の設置・配筋

本日の活動成果

宿営地側溝整備

活　動　前
第１施設小隊【10.4 0830現在】



活　動　中
第１施設小隊【10.4 1400現在】

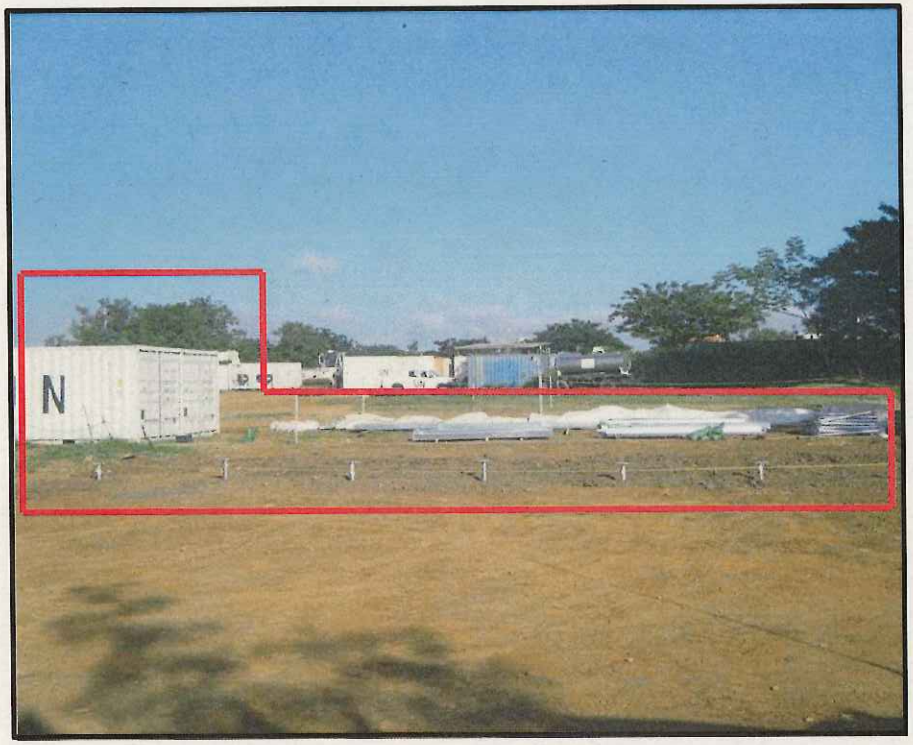


活　動　成　果	
進度 累計 [redacted]	１　コンクリート打設（集水枡） ２　整　地

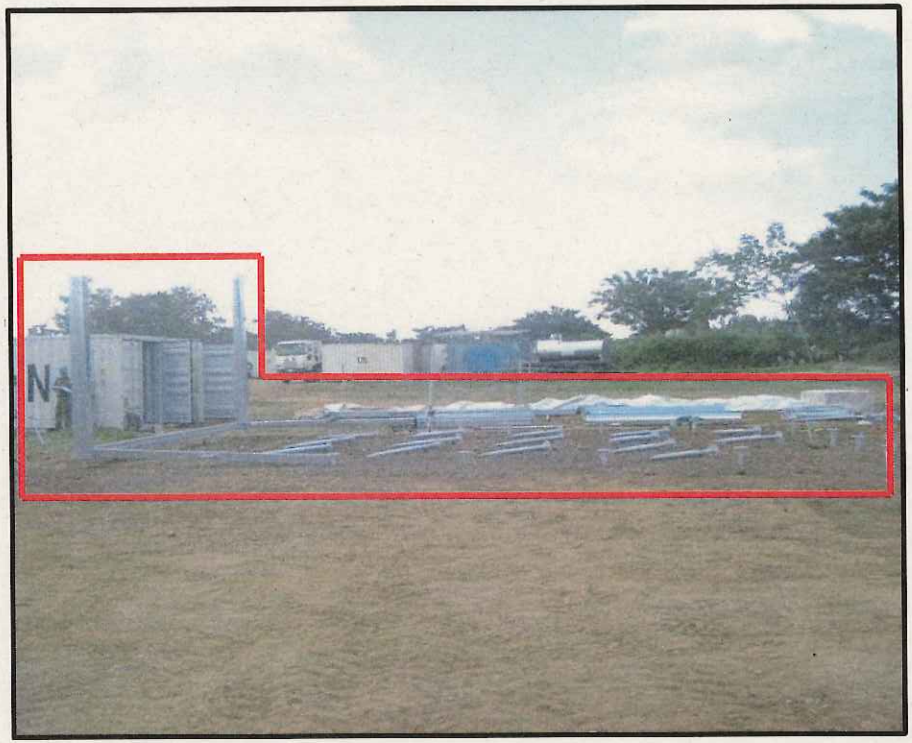
本日の活動成果

英国ＬＯプレハブ構築

活　動　中
第１施設小隊【10.4 0900現在】



活　動　中
第１施設小隊【10.4 1400現在】

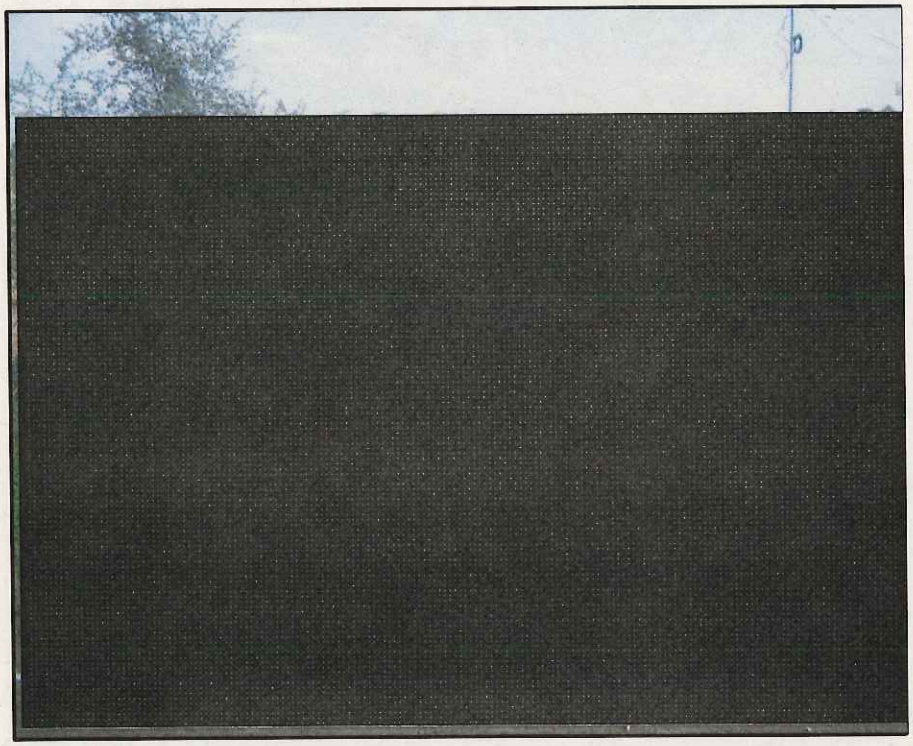


活　動　成　果	
進度 累計 [redacted]	1　基礎工事 2　柱梁 3　骨組

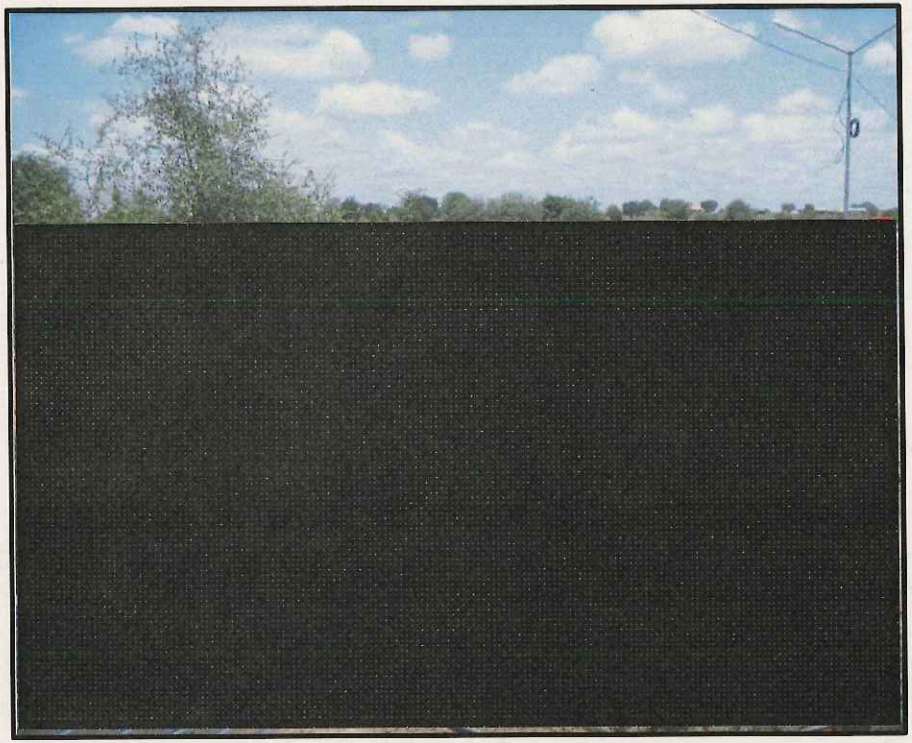
本日の活動成果

ＵＮハウス地区西側外壁構築

活　動　前
第２施設小隊【10.4 0900現在】



活　動　中
第２施設小隊【10.4 1300現在】

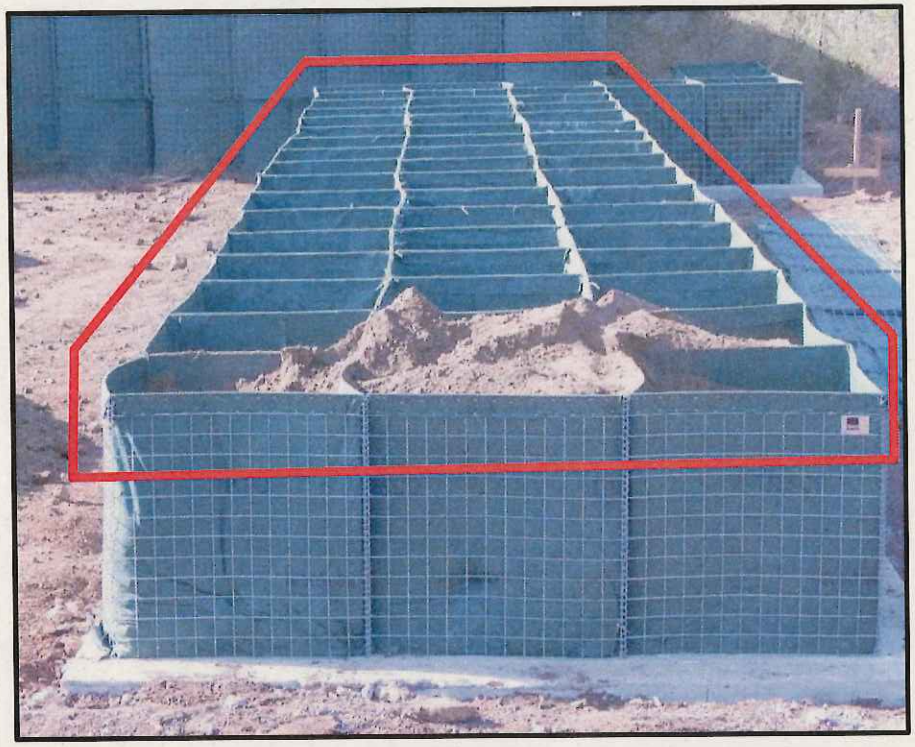


活　動　成　果	
進度 累計	・整地作業 ・ミフラム組立設置及び土入れ ・測量経始

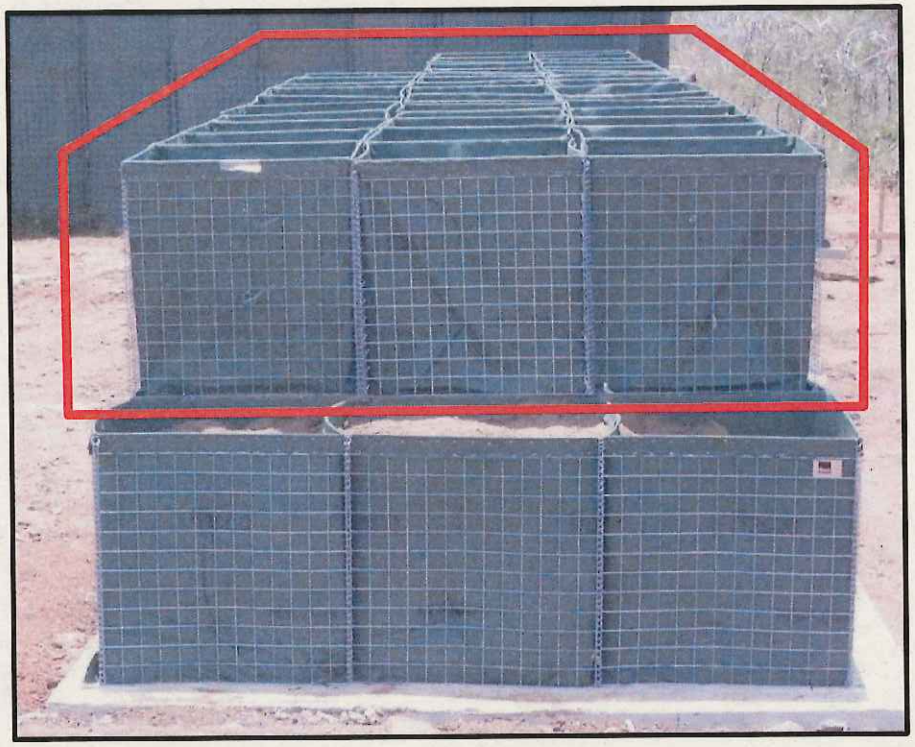
本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫増設

活　動　前
第３施設小隊【10.4 1000現在】



活　動　中
第３施設小隊【10.4 1400現在】

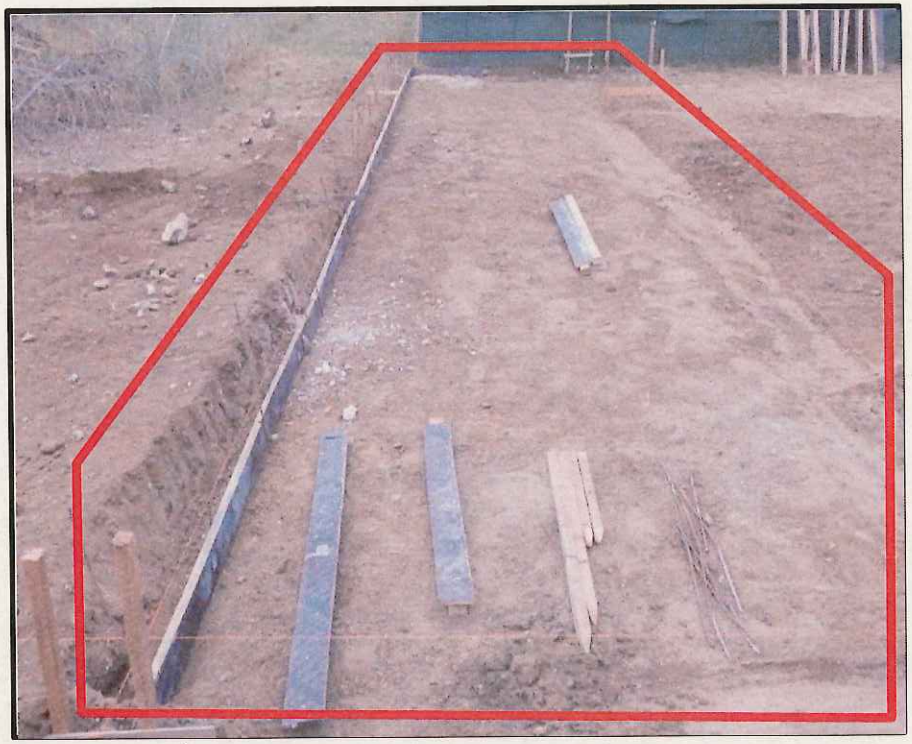


活　動　成　果	
進捗 累計 [redacted]	・型枠設置 ・ヘスコ設置 ・土運搬

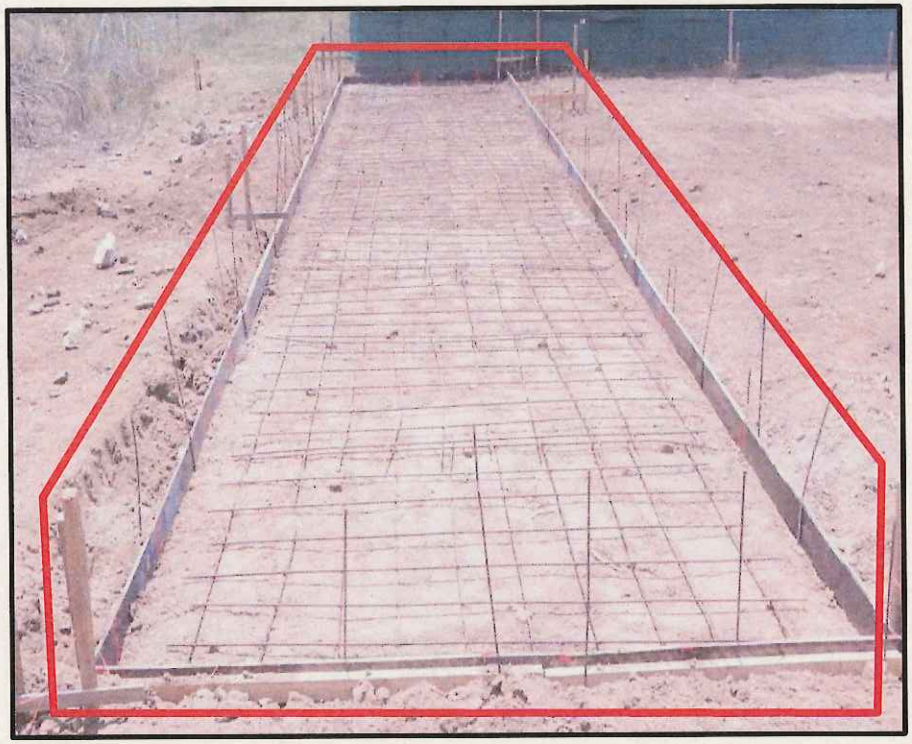
本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫増設

活　動　前
第３施設小隊【10.4 1000現在】



活　動　中
第３施設小隊【10.4 1400現在】



活　動　成　果	
進捗 累計 [redacted]	・型枠設置 ・ヘスコ設置 ・土運搬

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
別紙第３「情　勢」
別紙第４「装備品等現況」
別紙第５「患者受診状況」
別紙第６「人員現況」
別紙第７「総括（評価）」

(2)　活動命令
別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
別紙第９「視察・来隊予定」
別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（1／9）／Situation

別紙第３－１

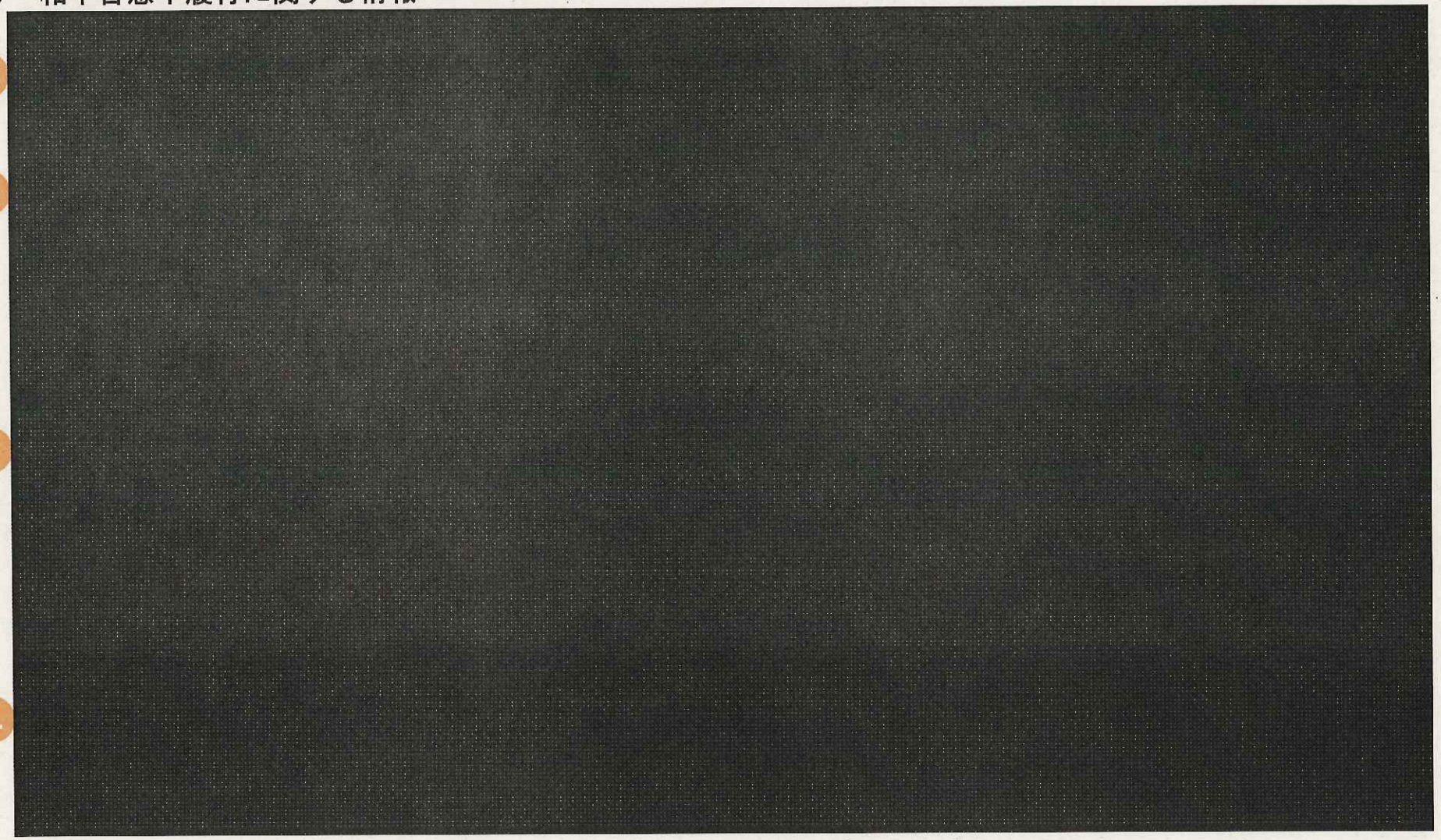
凡例　青字：新規
赤字：評価

1　南スーダン全域の情勢

(1)　和平合意履行に関する情報

新規追加事象なし

(2)　和平合意不履行に関する情報



情　勢（2／9）／Situation

別紙第３－２

凡例　青字：新規
赤字：評価

(3)　その他入手した主要な情報資料

[redacted]

■　南スーダンにおける戦闘から逃れたウガンダの商人らは、ジュバに平穏が戻ったため、ジュバに戻ってきており、同商人らは、コニョコニョマーケット及びガンボマーケットにおいて、７月の戦闘時に閉鎖した店を再開している模様

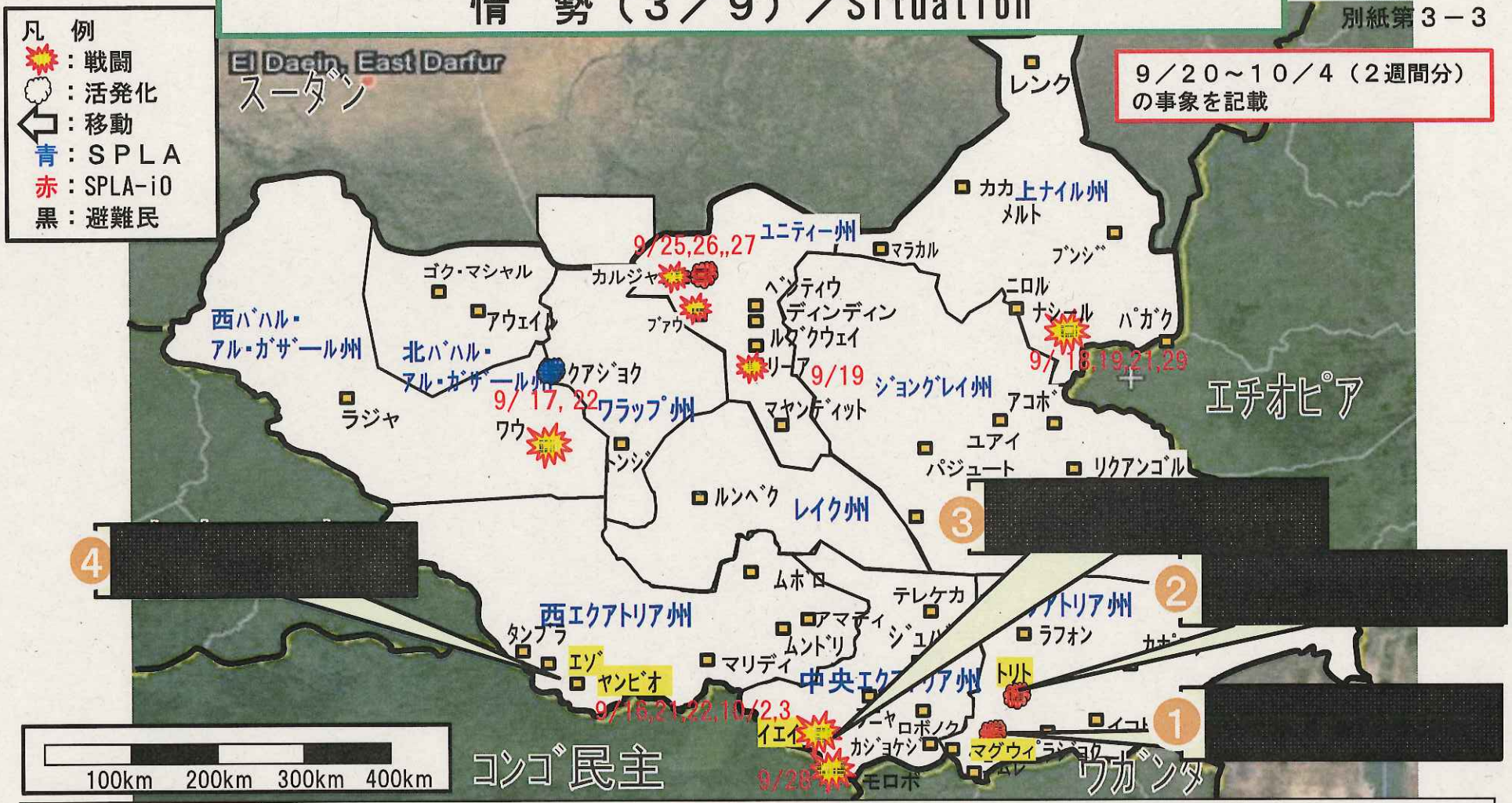
（３日 All Africa “Ugandan Traders Return to Juba as calm prevails”）

→　市内経済活動については一部復調の兆しを見せているものと思料

情　勢（3／9）／Situation

別紙第３－３

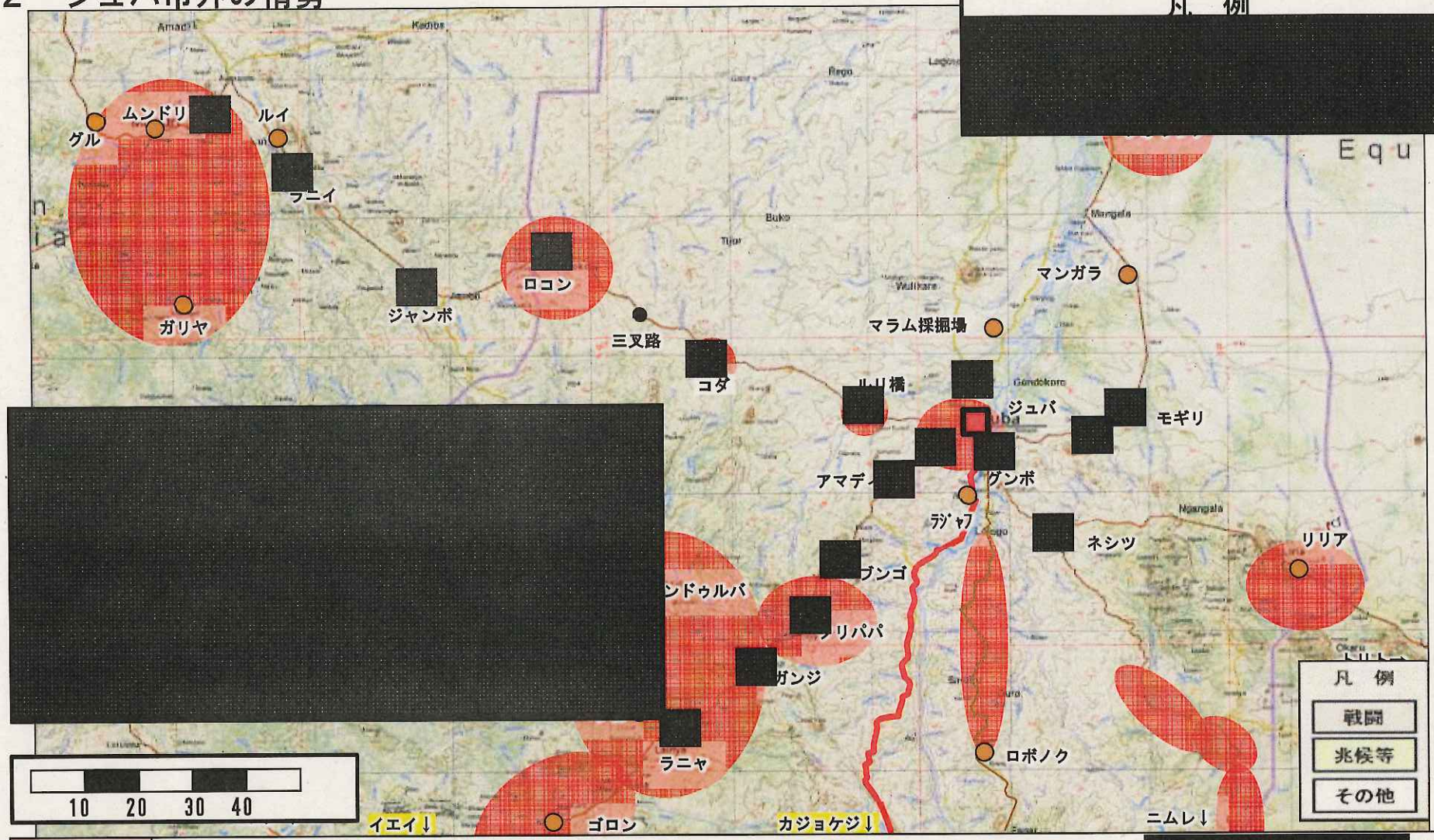
９／２０～１０／４（２週間分）の事象を記載



評　価	和平合意	和平合意については、ＪＭＥＣによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、ＪＶＭＭも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示している事から、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部、南部及び西部において、ＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯとの小規模な戦闘が継続しており、マシャル前第１副大統領のキール政権打倒のための武力闘争の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による１０月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要

情　勢（４／９）／Situation

２　ジュバ市外の情勢



評　価	ジュバ西部は一定の落ち着きを取り戻している模様、しかしながら郊外、[redacted]ことから情報は限定的だが、避難民のコンゴ民主共和国への流入等から周辺における戦闘は継続しているものと思料され、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情　勢（５／９）／Situation

３－１　ジュバ市内の状況１

■　４日０３１６頃、宿営地南方向１Ｋｍ以上
射撃音１発確認
（２６日　派遣施設隊）
→　夜間の射撃における流れ弾に注意

[redacted]



評　価	ジュバ市内は、昼間は平穏な状況に戻りつつあるが、夜間の治安機関によるパトロールが強盗、不審者等へ警告射撃や発砲することから生じる流れ弾には注意が必要 また、[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、引き続き各種活動時には流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情　勢（６／９）／Situation

３－２　ジュバ市内の状況２

■　４日、ＵＮハウス周辺の非武装地域（WFZ：Weapon Free Zone）に関しては、現在周辺地域の草刈り実施中であり、設定地域の準備が終了次第、運用が開始される旨の説明がＪＯＣ担当者からされた模様
　また、同日１０３０頃、ＪＯＣ担当者と中国歩兵大隊、ＵＮＰＯＬによる予行が行われた模様
（４日　派遣施設隊）
→　引き続き、設定されるまでの間は、流れ弾に注意が必要

[redacted]



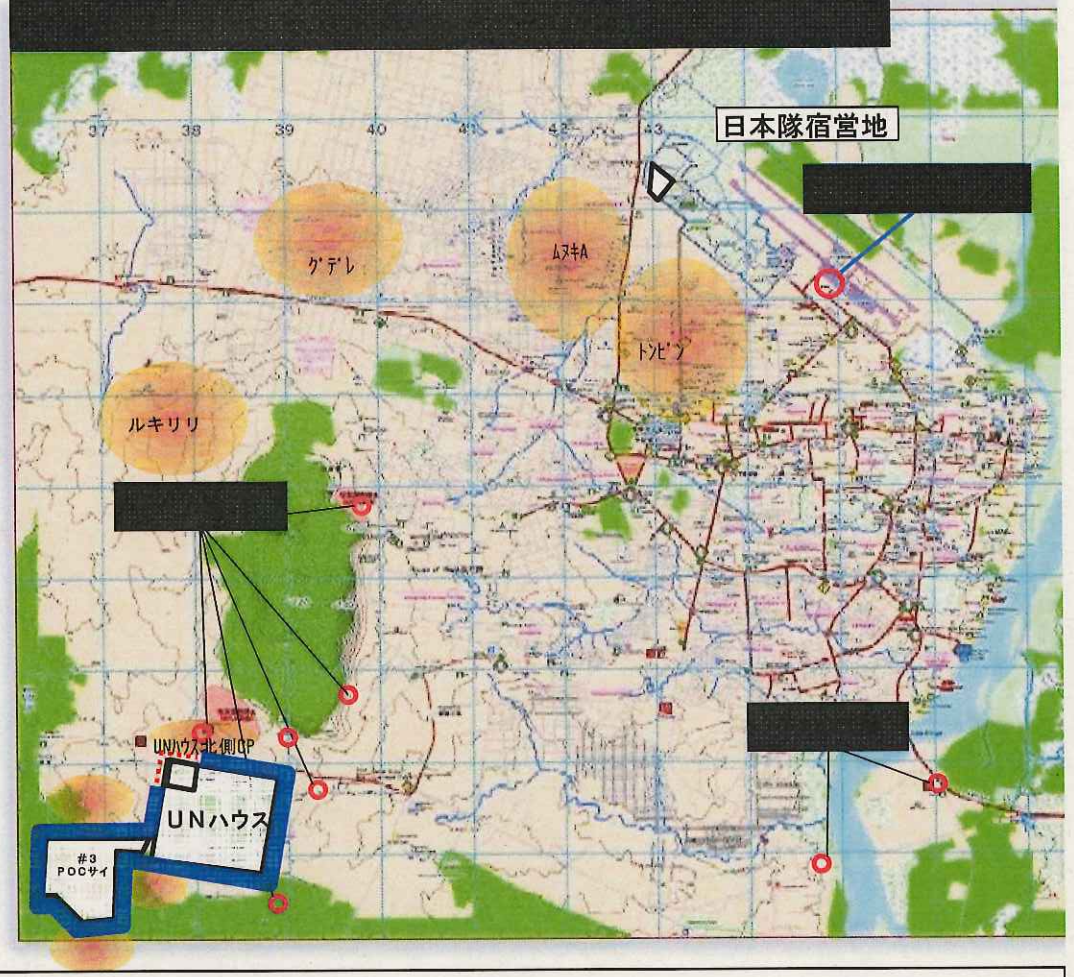
評　価	ジュバ市内は、昼間は平穏な状況に戻りつつあるが、夜間の治安機関によるパトロールが強盗、不審者等へ警告射撃や発砲することから生じる流れ弾には注意が必要 また、[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、引き続き各種活動時には流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情　勢（７／９）／Situation

３－３　ジュバ市内の状況３

[redacted]

[redacted]



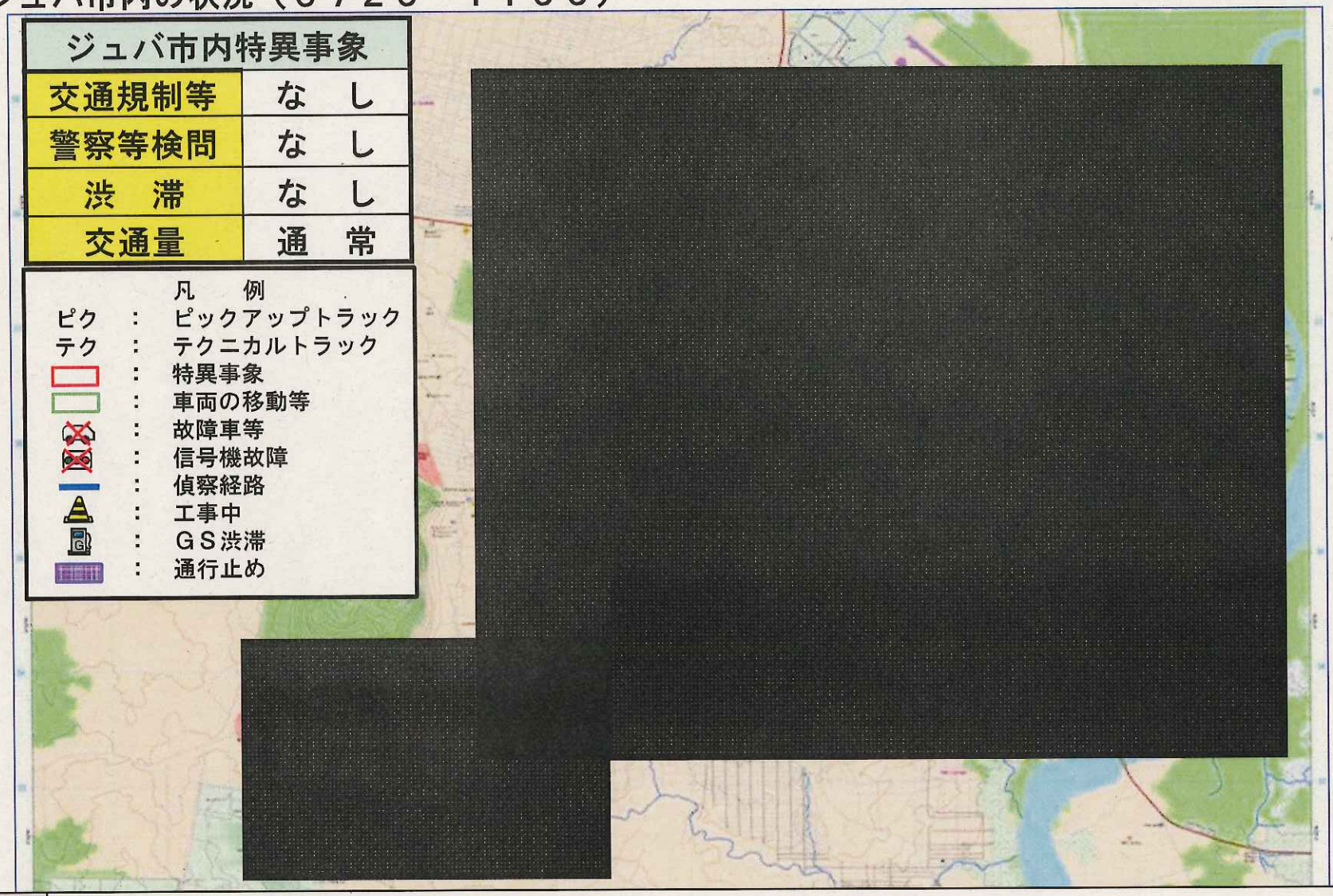
評　価	ジュバ市内は、昼間は平穏な状況に戻りつつあるが、夜間の治安機関によるパトロールが強盗、不審者等へ警告射撃や発砲することから生じる流れ弾には注意が必要 また、[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、引き続き各種活動時には流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情　勢（８／９）／Situation

４　ジュバ市内の状況（０７２０～１１００）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	通　常

凡　例
ピク　：　ピックアップトラック
テク　：　テクニカルトラック
：　特異事象
：　車両の移動等
：　故障車等
：　信号機故障
：　偵察経路
：　工事中
：　ＧＳ渋滞
：　通行止め



評　価	市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（９／９）／Situation

５　気　象（０６００ｉ）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	晴れ	２１℃	４４℃	２６％	７０％	０mm	
カンパラ	晴れ時々雨	１７℃	３１℃	５７％	９０％	８mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

別紙第４－１
１０月４日１３００ｃ

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	１００％ [redacted]	な　し	
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機×２ （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 → [redacted] 整備完了まで予備の２２０ＫＶＡ発電機×１を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－２

１０月４日１３００ｃ

区分		品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－３

[redacted]　喫食者数：３５２名（ウガンダ出張－１）　１０月４日１３００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐久品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	その他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油（発電機）					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン（調達品）					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

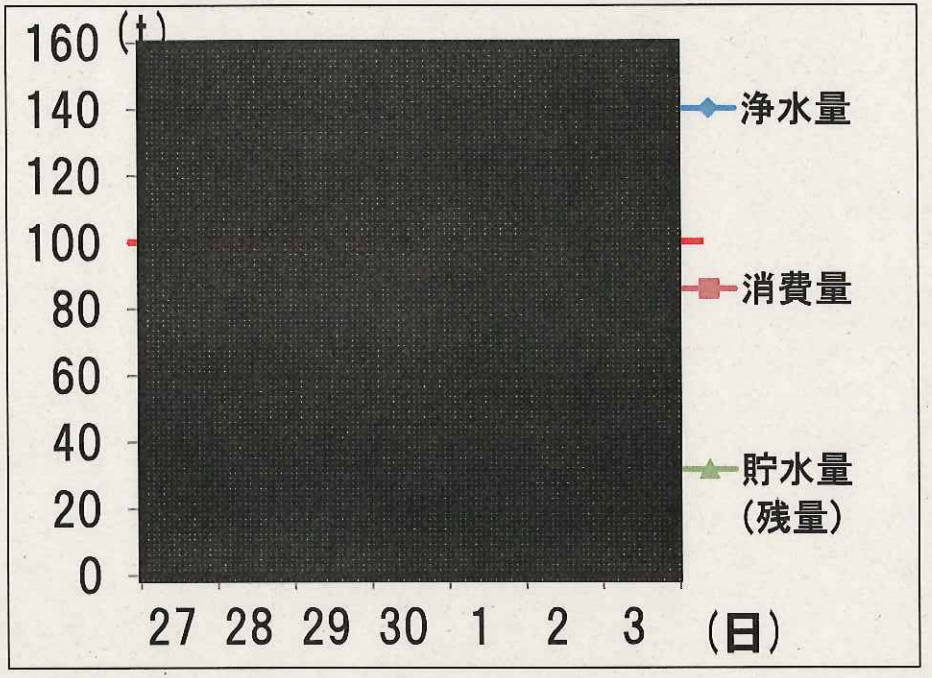
第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

１０月４日１３００c

【H28.10】（１０次要員）

凡例 ― 消費量の目安ライン

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
火	２７	[redacted]		
水	２８			
木	２９			
金	３０			
土	1			
日	2			
月	3			



他国供給先（前日実績）	供給量
ＵＮハウス	
トランジット	4
ネパールＦＰＵ	4
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	
合　計	8

【評　価】
○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。
　再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手による対応が必要である。
○9月20日第4井戸の深さ調査を実施
　深さ:24m（8月16日の故障時から変化なし）
※　貯水の危険水位:[redacted]
（注）日々の消費量が[redacted]を超える日が[redacted]で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

別紙第５

患者受診状況

受診患者計　　５名

１０月　３日１８００ｃ
～１０月　４日１８００ｃ

所属等	傷病者数	疾患名	備考
隊本部	１名	[redacted]	
本部付隊	４名		

凡例：　（再）　→　再　診

別紙第６
１０月４日１８００c

人員現況／Personnel Status

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（UNトンピン）	３５３	1	３５２	○ウガンダ出張（[redacted]）１０／３～７	

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

凡例　赤字：強調　青字：不在者

活動の分析及び評価

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	流れ弾	9/14, 18, 21, 22, 23, 25, 27, 28, 10/4 近傍での射撃（特に夜間）	
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り	
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置	
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り	
		ＩＤＰの流入又は侵入		
		流れ弾	10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）のリハーサルの実施	
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ		
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	8/31 #3POCサイトでマシャル派による平和的デモ 9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入	
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生　死体放置	

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
			9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り	
		反ＵＮデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家ﾊﾟﾈﾙ報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り	
		流れ弾	[redacted]	
			9/22 夜間のﾑﾀﾞｷ地区で10発以上の射撃	
	ジュバ郊外（ﾛｺﾝ、ﾗﾆｬ、ﾄﾘﾄ、ﾏﾝｶﾞﾗ）	戦闘への巻き込まれ	[redacted]	
		ハラスメント		
		武装強盗への巻き込まれ		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾	[redacted]	
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
ジュバ郊外活動（ﾛｺﾝ、ﾗﾆｬ、ﾄﾘﾄ、ﾏﾝｶﾞﾗ）	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	武装強盗への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、[redacted]での常続的かつ単発的な射撃の発生及び銃を携行したＳＰＬＡ兵士が確認されるとともに、ＩＤＰが火器を保有している可能性は否定できず、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。 特に[redacted]や現地雇用のＵＮ職員の拘束も発生しており、ハラスメントへの巻き込まれには引き続き注意が必要 また、ＩＤＰの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要 さらに、ジュバ市内においては昼間の治安は改善傾向にあるものの、一部地域で主に夜間に銃犯罪が発生していることから流れ弾に注意が必要 また、ＵＮＤＰＫＯ及び安保理からＵＮＭＩＳＳマンデートの妨害に関する懸念が表明されるとともに、南スーダン政府側の対ＵＮ感情も悪化していたが、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始める等、対ＵＮ感情の変化には注視が必要 加えて、マシャル氏がキール政権に対する武力闘争を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要

総　括

<table>
<tr><td>評　価
（総括）</td><td colspan="2">・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は、ＩＤＰ移動完了に伴う各種整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要
・　ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性はあるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、移動時間、移動経路の指定など処置が必要
・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、ＵＮハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要
　また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要</td></tr>
<tr><td rowspan="7">処置・対策</td><td>ＩＤＰとの小競合い</td><td rowspan="7"></td></tr>
<tr><td>物品の盗難</td></tr>
<tr><td>疾病罹患</td></tr>
<tr><td>流れ弾対処</td></tr>
<tr><td>ＩＤＰデモ対処</td></tr>
<tr><td>ＳＰＬＡ等による
ハラスメント</td></tr>
<tr><td>戦闘への巻き込まれ</td></tr>
</table>

明日の活動命令
(Operations)

1　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy &　Guidance)

2　視察・来隊予定　　(Schedules of visitors)

3　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

１０月５日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、英軍ＬＯプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)ア　活動警備レベル（基準）

(ｱ)　ＵＮハウス地区

ａ　ハウス西側外柵沿い　　レベル[redacted]

ｂ　ハウス南側弾薬庫地域　レベル[redacted]

(ｲ)　ＵＮトンピン地区　　レベル[redacted]

(ｳ)　ジュバ市内

ａ　ｚｏｎｅ１　（ジュバナバリ）　　レベル[redacted]

ｂ　ｚｏｎｅ４　（ジュバタウン）　　レベル[redacted]

ｃ　ｚｏｎｅ５　（アフェックス周辺）レベル[redacted]

ｄ　ｚｏｎｅ６　（ダヴィンチ周辺）　レベル[redacted]

イ　宿営地警備　[redacted]

３(1)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）

ａ　人員４名を本部付隊に差出

ｂ　Ｐｔ（－）

ＵＮトンピン地区退避壕構築、トンピン内道路整備、状況により臨時工兵課タスクの実施

(2)　１ＥＰｔ（第１施設小隊）

ＵＮトンピン地区英軍ＬＯプレハブ構築及び宿営地整備

(3)　２ＥＰｔ（第２施設小隊）

ＵＮハウス地区西側外壁構築

(4)　３ＥＰｔ（第３施設小隊）

ＵＮハウス地区弾薬庫増設

(5)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）

宿営地警備、同行警備及び[redacted]

(6)　ＨＱＵ（本部付隊）

宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区内給水活動、発電機揚重及び[redacted]

(7)　ＭＩＳｅｃ（情報班）

ジュバ市内及びＵＮトンピン地区における情報収集

(8)　ＧｕａｒｄＳｅｃ（警護班）

現地確認

(9)　ＭＰＳｅｃ（警務班）

[redacted]

別紙第８－３

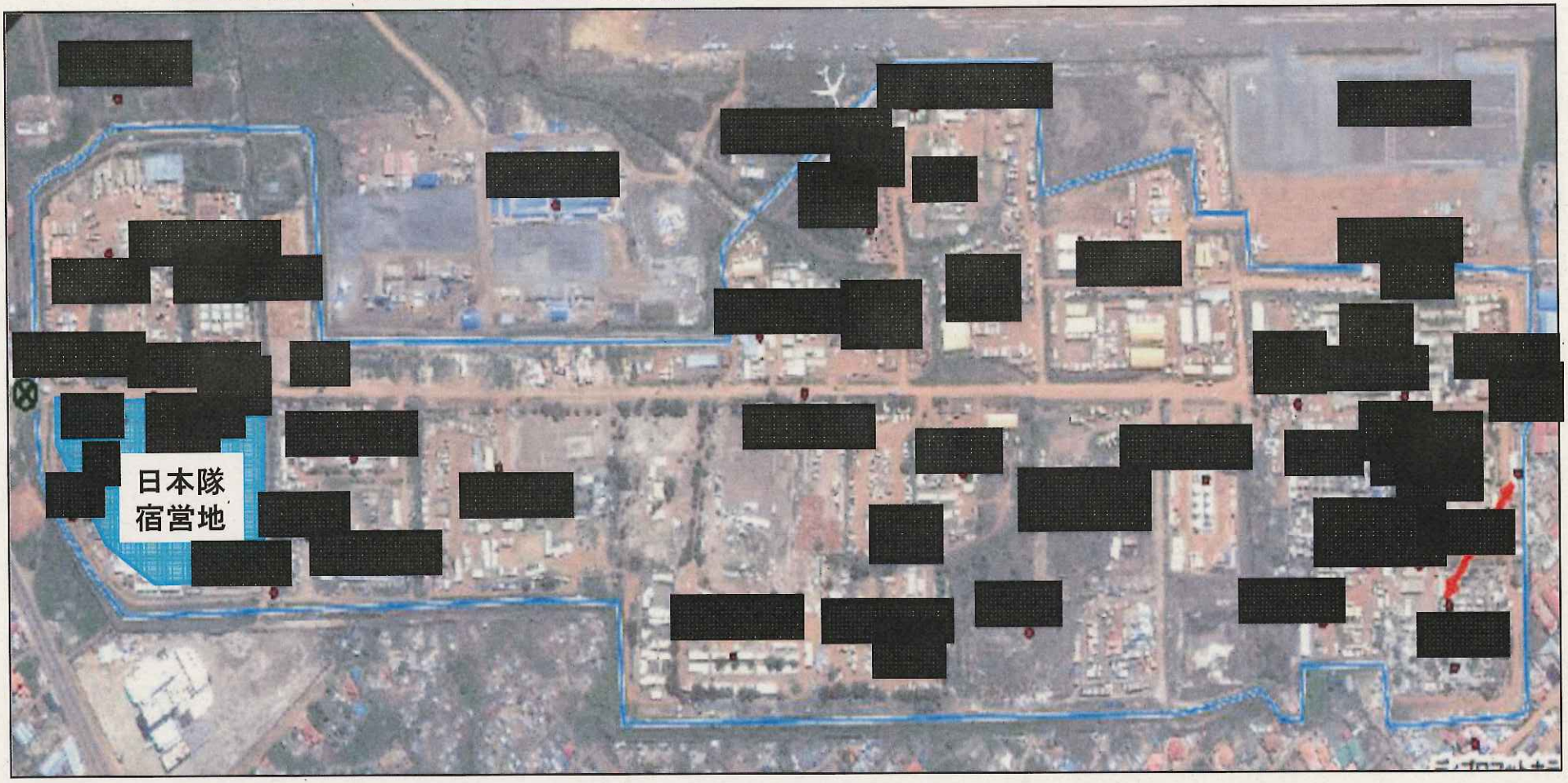
活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１７	高機×１、大型×２ 油圧×１、ロードローラ×１	
②		英軍ＬＯプレハブ構築	１小隊	０８００～１６００	エチオピア歩兵大隊北側	１６	高機×２、大型×１	
③		ＵＮトンピン地区道路整備	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	４	グレーダ×２	
③	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット エチオピア歩兵大隊	２	給水車×１	
④	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	ネパールＦＰＵ	２	給水車×１	
⑤		週工兵会議 業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	３	小型×１	
⑥		業務調整（輸送）	隊本部 （Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	２	小型×１	
⑦		役務業者迎え（施設）	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～１６００	メインゲート	２	小型×１	
⑧		広報活動	隊本部 （広報）	０７４０～１６００	ＵＮトンピン内	２	小型×１	
⑨		情報収集	情報班		ＵＮトンピン内			
⑩		施設現場視察事前予行	隊本部 （Ｓ－３） 本部付隊 器材小隊 １小隊 ２小隊 警備小隊 警務班	１３３０～１６００	ＵＮトンピン内			
⑪	施設	宿営地整備	１小隊	０８００～１６００	宿営地	１６	小油圧×１、資材運搬車×１	
⑫		宿営地整備 （発電機揚重）	本部付隊 器材小隊	０８００～１６００	宿営地	５	油圧クレーン×１ 大型×１	
⑬		臨時工兵課タスク	器材小隊	別示	ＵＮトンピン内			

凡例　　ＵＮタスク

別紙第８－４

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



9	広報活動
10	情報収集
13	臨時タスク

別紙第８－５

活動概要（ＵＮハウス地区）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０７３１～１６３０	ＵＮハウス西側	２４	高機×3、大型×3 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②	施設	ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７３２～１６３０	弾薬庫	１８	高機×2、大型×1 特大型×1 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
③	その他	業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０７３３～１３００	工兵課	３	高機×1	
④		広報活動	隊本部（広　報）	０７３３～１３００	ＵＮハウス	２	高機×1	

凡例　　ＵＮタスク

別紙第８－６

活動概要（ＵＮハウス地区）（４／７）



別紙第８－７

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部（Ｓ－２）		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③	その他	銀行業務（会計）	隊本部（Ｓ－４）	１３３０～１６００	ジュバ市内	３	高機×１	
④		施設偵察（市内研修）	隊本部（Ｓ－１）	１２３０～１６３０	ジュバ市内	２	高機×１	

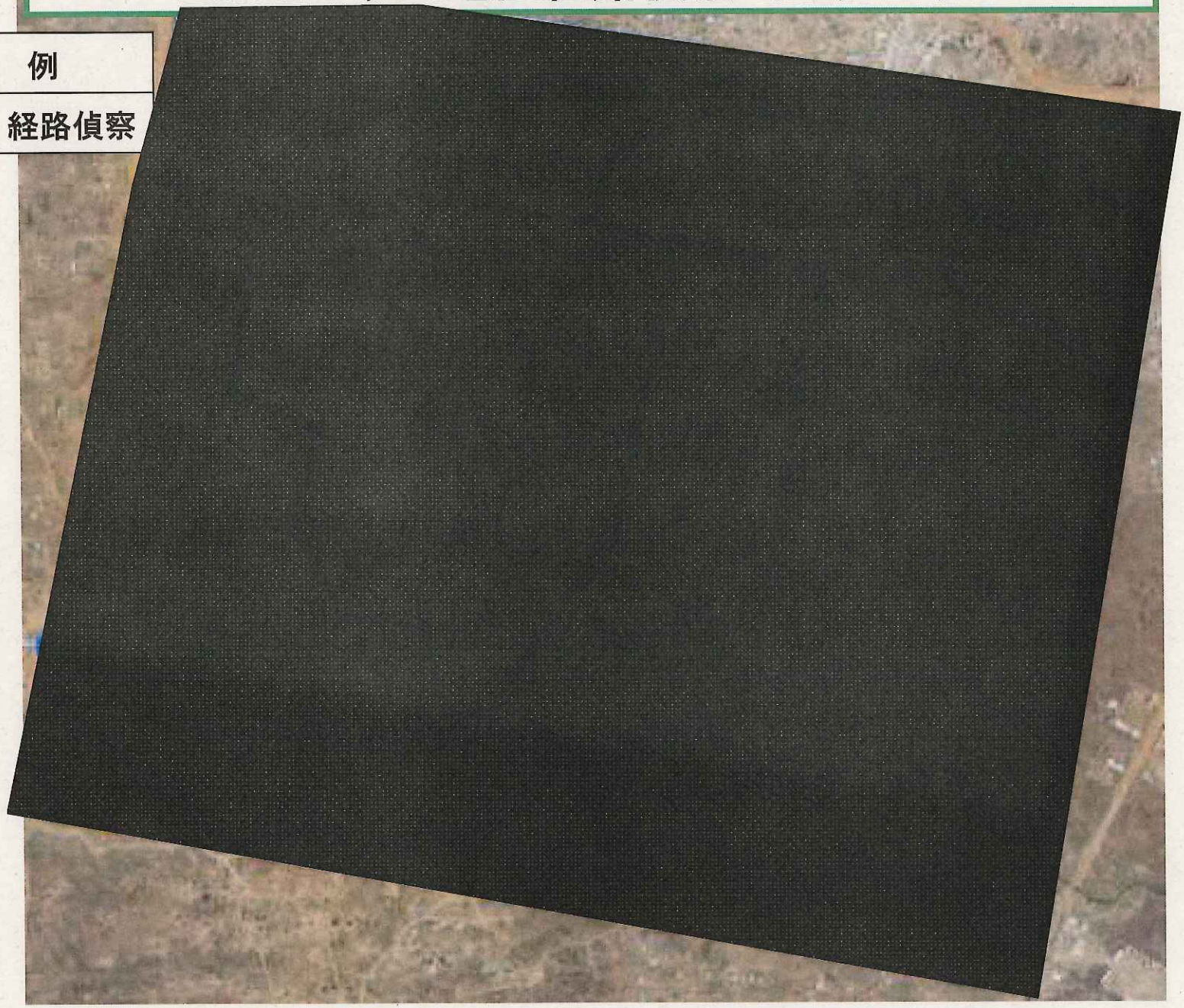
活動概要（ジュバ市内）（６／７）



別紙第８－９

ＵＮハウス地区経路偵察（７／７）

凡　例	
――	経路偵察



別紙第９

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
	視察・来隊者等なし	

隊長、副隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM	課業外
隊　長	[redacted]		
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

	AM	PM	課業外
最先任上級曹長	[redacted]		

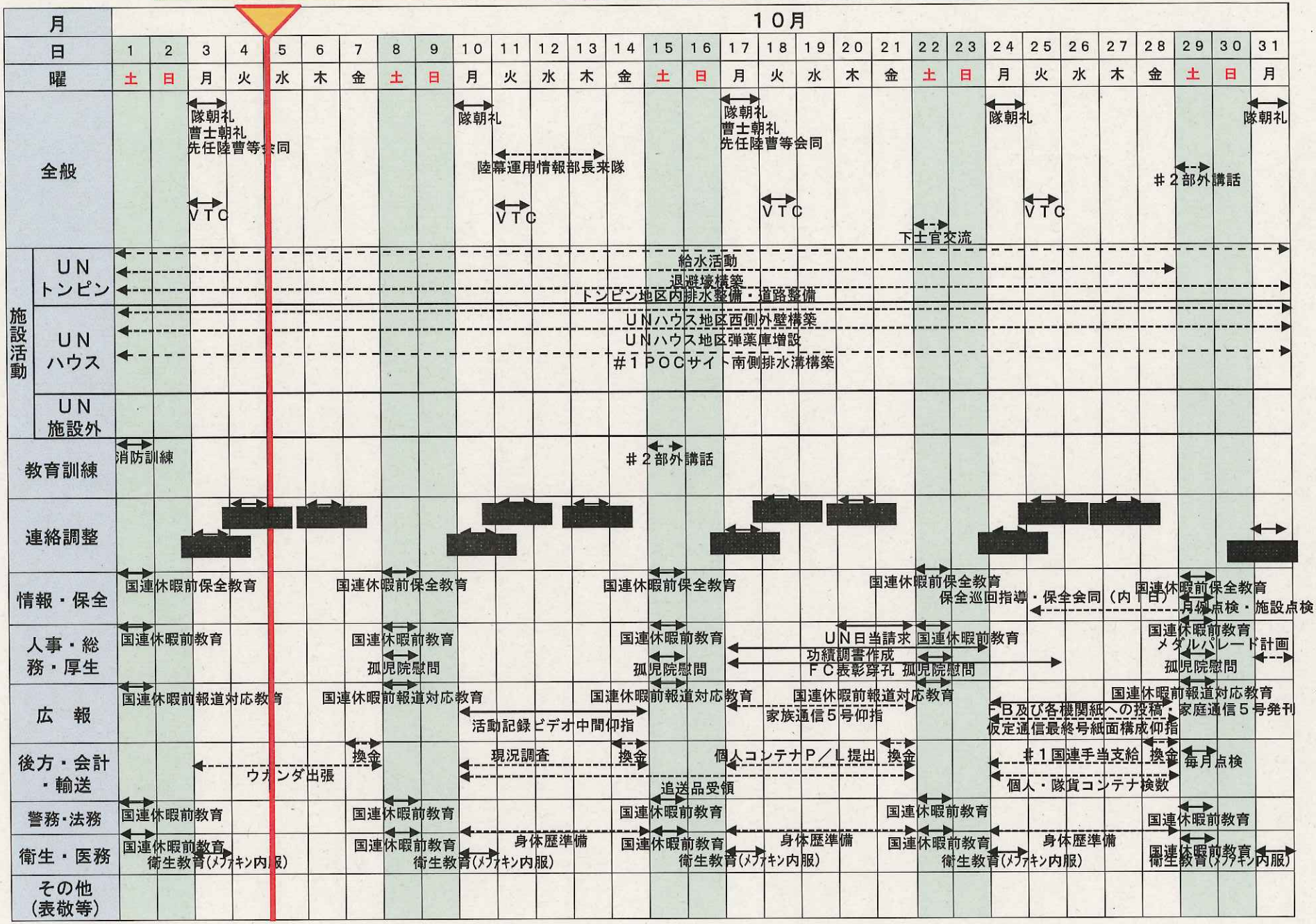
３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

赤字：変化事項

１０月　月間業務予定

別紙第１１－１



赤字：変化事項

週間活動予定（１０／２～１０／８）第４３週

別紙第１１－２

日	１０／２	１０／３	１０／４	１０／５	１０／６	１０／７	１０／８
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

赤字：変化事項

週間活動予定（１０／９～１０／１５）第４４週

別紙第１１－３

日	１０／９	１０／１０	１０／１１	１０／１２	１０／１３	１０／１４	１０／１５
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

連携案件等情報

別紙第１２

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練「＃4さくらPJ」	MTC	実施の可否について再検討	MTC JICA	JICAの年内帰国は困難の見通し	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	・JICA ・大日本土木	CRFにおいて実施の可否について検討中	CRF JICA	CRFにおいて実施の可否を検討中	
2	国際機関等連携案件	UNOPS水質調査支援 （日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼）	UNOPS （大使館）	工兵課からタスク発出済み	UNOPS （※） （大使館）	UNOPSに状況確認中（現在返信なし）	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　―：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（４～５日）ジュバ／Weather JUBA







日(曜) Date		４日（火）		５日（水）					
時　Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動		会計幹部ウガンダ出張							
						UNの基盤整備			
Juba	天　気								
	気温(℃)	２９	２５	２４	２３	２９	３６	３７	３５
	体感気温(℃)	３１	２７	２６	２５	３２	４０	４０	３９
	降水確率	６０%	０%	８０%	１０%	０%	１０%	７０%	７０%
	雨量	１mm	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm
	風向	北北東	西	西南西	南南西	南	南南東	南南西	西
	風速	１	１	１	１	２	２	２	１
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		6日（木）	7日（金）	8日（土）	9日（日）	10日（月）
主要な活動		会計幹部ウガンダ出張 UNの基盤整備 市内研修 国連休暇（6Gp）		防衛大臣来隊		
Juba	天　気					
	気温(℃)	36／23	39／24	38／24	41／23	40／23
	降水確率	70%	0%	20%	40%	90%
	雨　量	2mm	0mm	0mm	0mm	1mm
	評　価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	32／16	31／16	32／16	32／17	31／15
	降水確率	90%	90%	0%	40%	0%
	雨　量	1mm	5mm	0mm	0mm	0mm

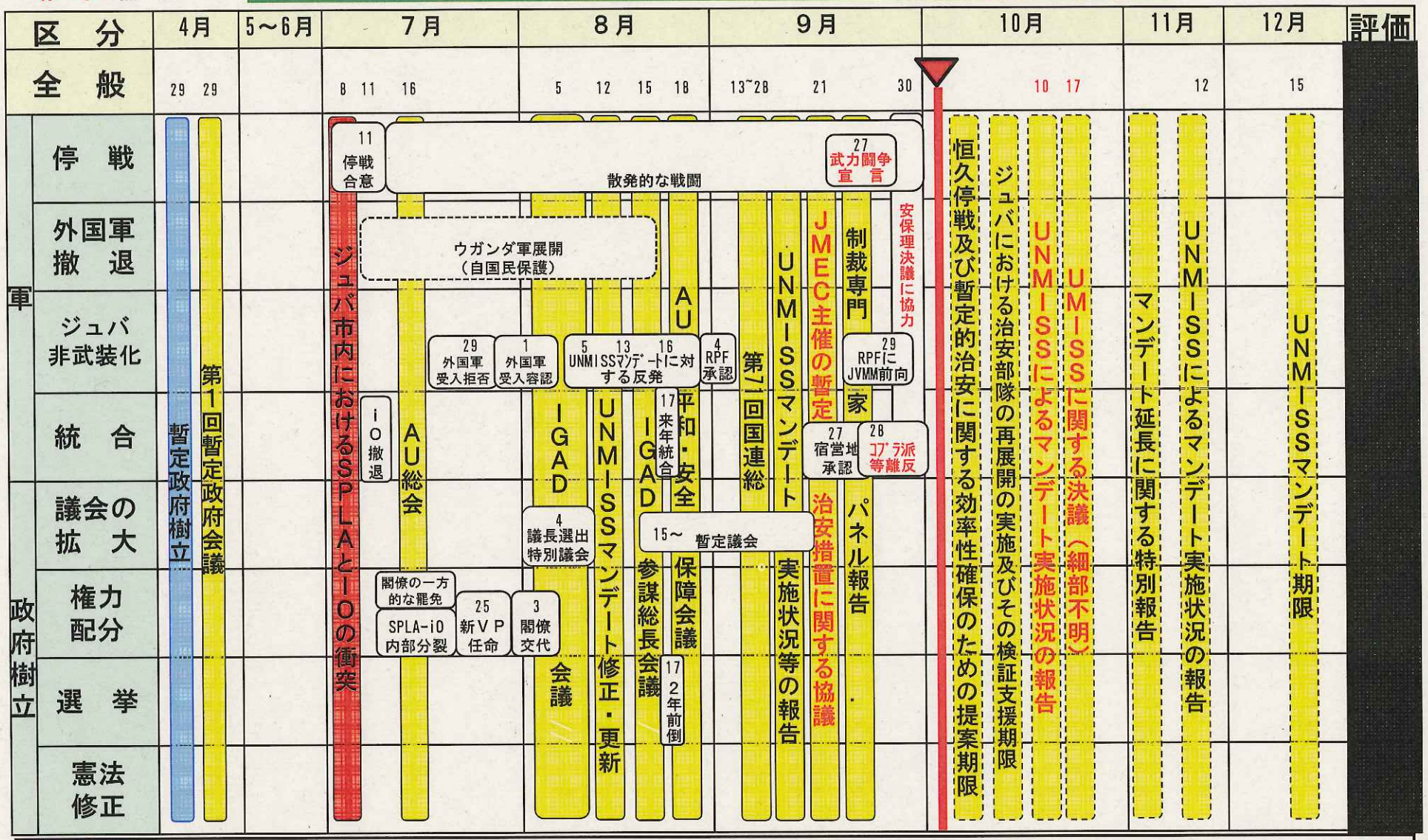
凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバは期間を通じて降雨が予想され、一時的に施設作業に影響を及ぼす可能性があり、注意が必要 2　ウガンダは不安定な天候が予想され、局所的な雨に注意

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価	和平合意については、ＪＭＥＣによる暫定治安措置に関するワークショップが終了し、キール大統領が安保理決議、特に治安及びUNMISSの移動の自由の確保に関して協力的な姿勢を示したことから、何らかの進展はあるものと思料 一方で、マシャル派ＳＰＬＭ－ｉＯによるキール政権打倒のための武力闘争の表明やジョングレイ州における南スーダン民主運動コブラ派高官等の離反表明に同調する勢力による和平合意の妨害・遅延には注視が必要

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8 ▼2016.7 2018→

安定 ↑ ↓ 不安定

和平合意

合意履行状況



暫定政府 → ジュバ戦闘 → 政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

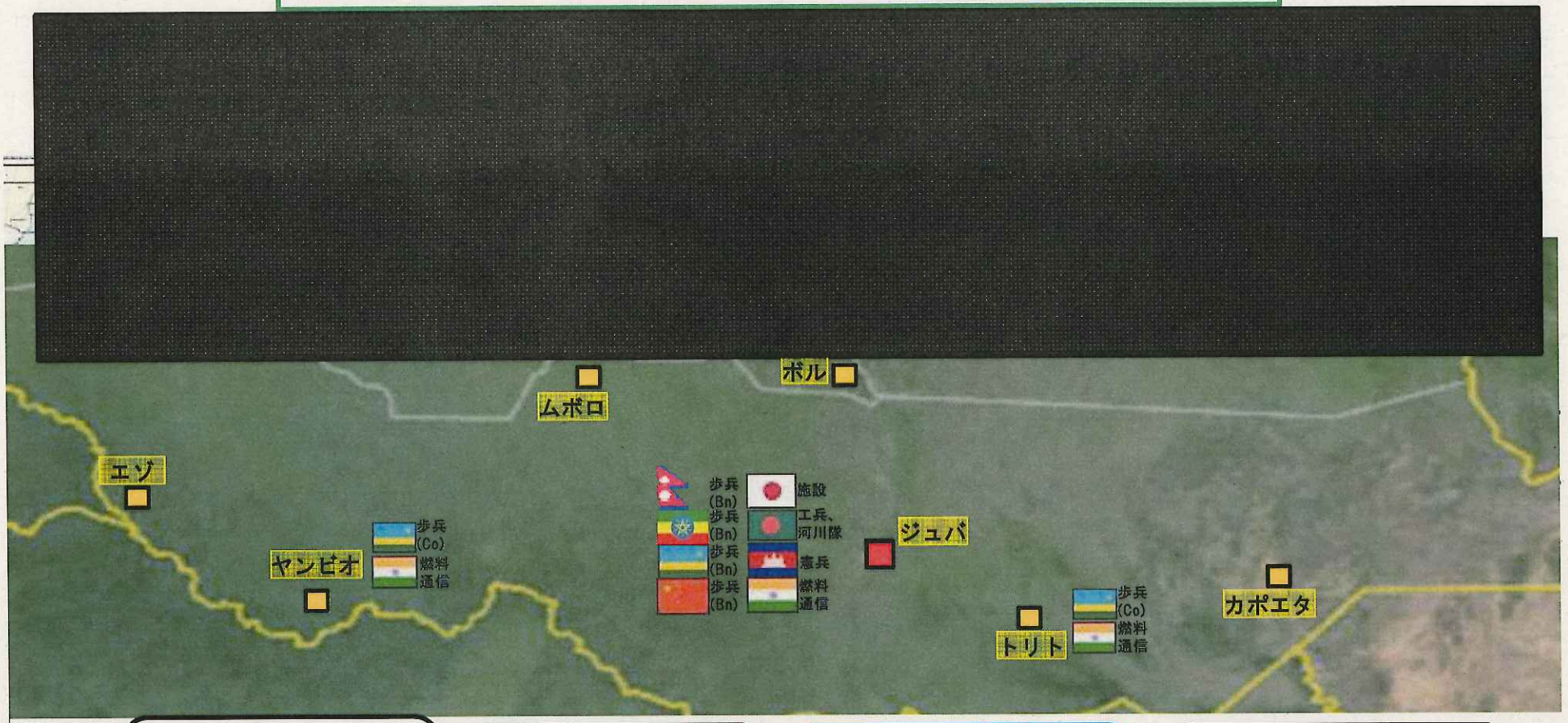
関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化(我の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- ＳＰＬＡと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（２０１６年１０月４日現在）



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]:本部ジュバ)

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
([redacted]:本部ジュバ)

中国
歩兵大隊 ([redacted])
(本部:ジュバ)

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]:本部ジュバ)

航空部隊([redacted])
([redacted])
(本部ジュバ)

日本
施設部隊
(約350名:本部ジュバ)

バングラデシュ
施設部隊:([redacted])(本部:ジュバ)
河川部隊:([redacted])(本部:ジュバ)

カンボジア
憲兵隊:(本部:ジュバ)
医療部隊:(本部:ジュバ)

インド
歩兵大隊Ⅱ
([redacted])ジュバ

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ

＝増派部隊
＝後方支援部隊

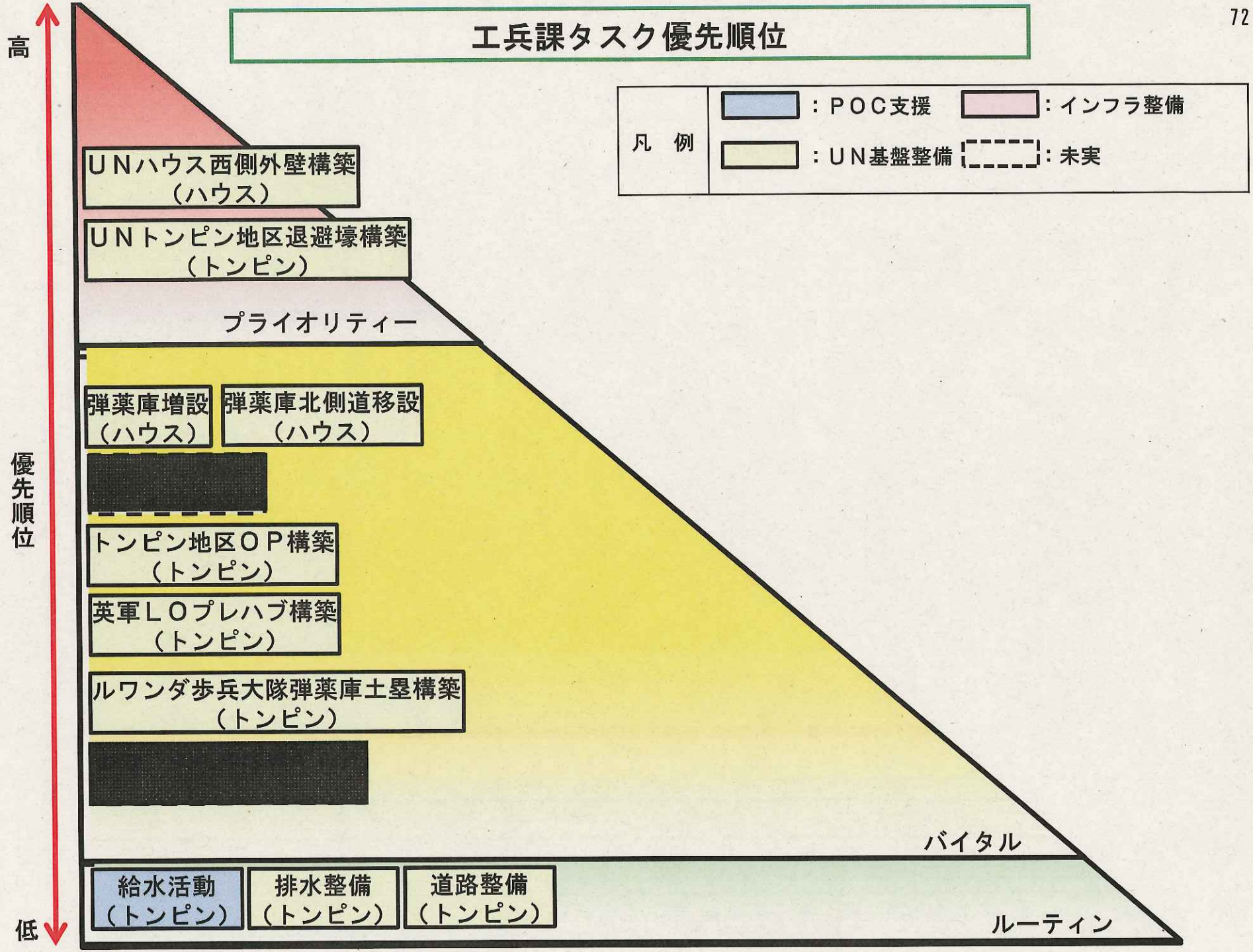
人員現況（第１０次要員）

２８．１０．４
１５００ｃ

場所	部隊		総員	内訳 幹部(O)	内訳 准曹(WS)	内訳 陸士(P)	現在員	事故	理由
ジュバ	隊本部		[redacted]						ウガンダ出張１名
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							
		整備班							
		補給班							
		通信班							
		衛生班							
		営繕班							
	施設器材小隊								
	第１施設小隊								
	第２施設小隊								
	第３施設小隊								
	警備小隊								
	情報班								
	警護班								
	派遣警務班								
合計			353	65	252	36	352	1	

凡例　赤字：強調　青字：不在者

工兵課タスク優先順位


凡　例
：POC支援
：インフラ整備
：UN基盤整備
：未実
高
優先順位
低
UNハウス西側外壁構築
（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築
（トンピン）
プライオリティー
弾薬庫増設
（ハウス）
弾薬庫北側道移設
（ハウス）
トンピン地区ＯＰ構築
（トンピン）
英軍ＬＯプレハブ構築
（トンピン）
ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築
（トンピン）
バイタル
給水活動
（トンピン）
排水整備
（トンピン）
道路整備
（トンピン）
ルーティン

１０月４日タスク等現況（１／２）

凡　例	：POC支援	：インフラ整備	：UN基盤整備	：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	UN基盤整備	1	UNハウス西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施計画				
492	UN基盤整備	2	UNトンピン地区退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施計画				
470	UN基盤整備	3	弾薬庫北側道路移設	UNハウス	道路移設	実施計画				マラム待ち
469	UN基盤整備	4	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設外柵構築	実施計画				
476	UN基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	UNトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施計画				工兵課の指示待ち
503	UN基盤整備	6	英軍ＬＯプレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	実施計画				
502	UN基盤整備	7	ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築	UNトンピン	土塁構築	実施計画				
325	POC支援	8	給水活動	UNトンピン	給　水					
471	UN基盤整備	9	排水整備	UNトンピン	排　水					
459	UN基盤整備	１０	道路整備	UNトンピン	道路整備					

１０月４日タスク等現況（２／２）

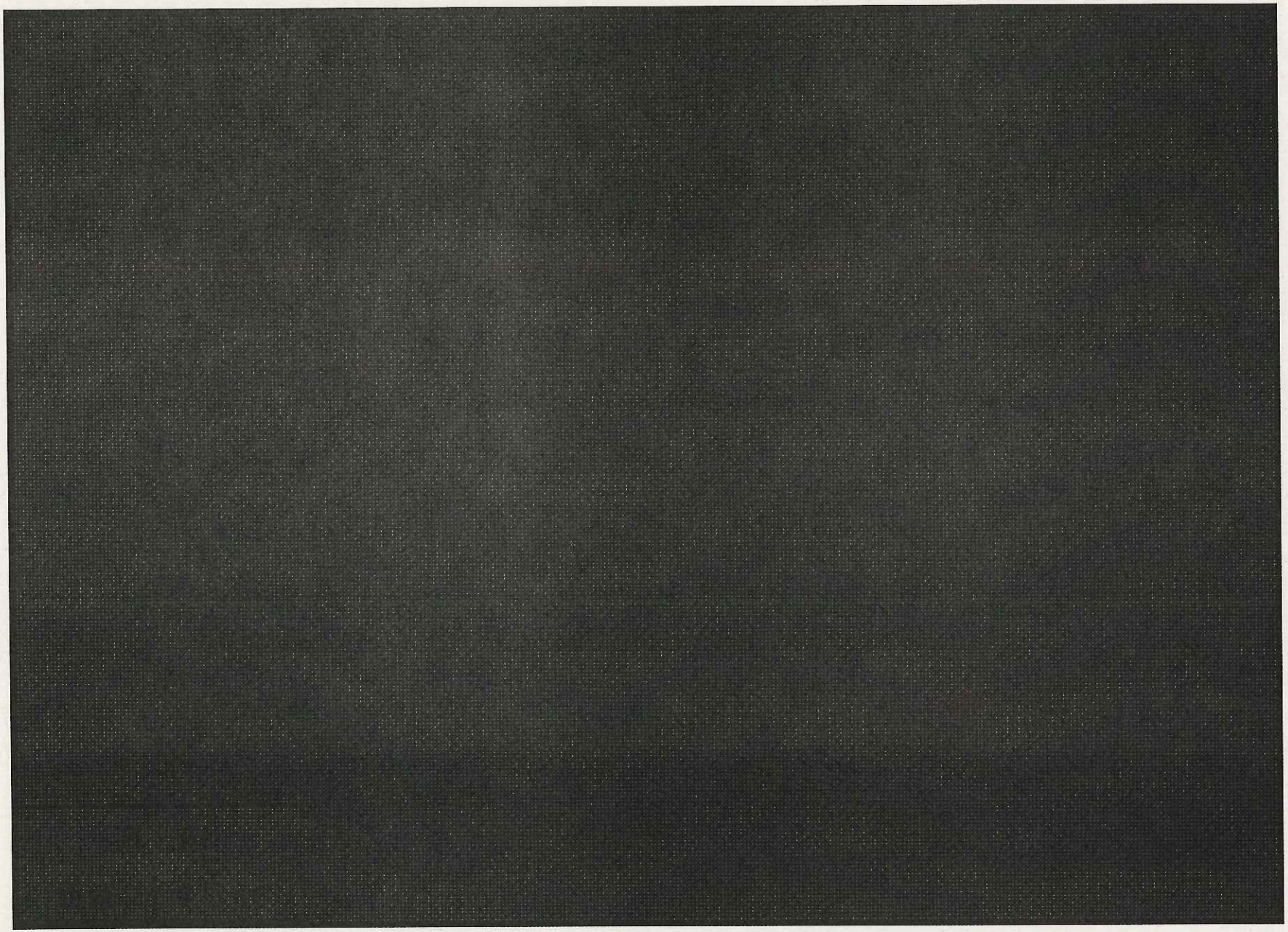
凡　例	：UN基盤整備

２　未実施

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
456	UN基盤整備			UNトンピン						
500	UN基盤整備			ジュバ市内						

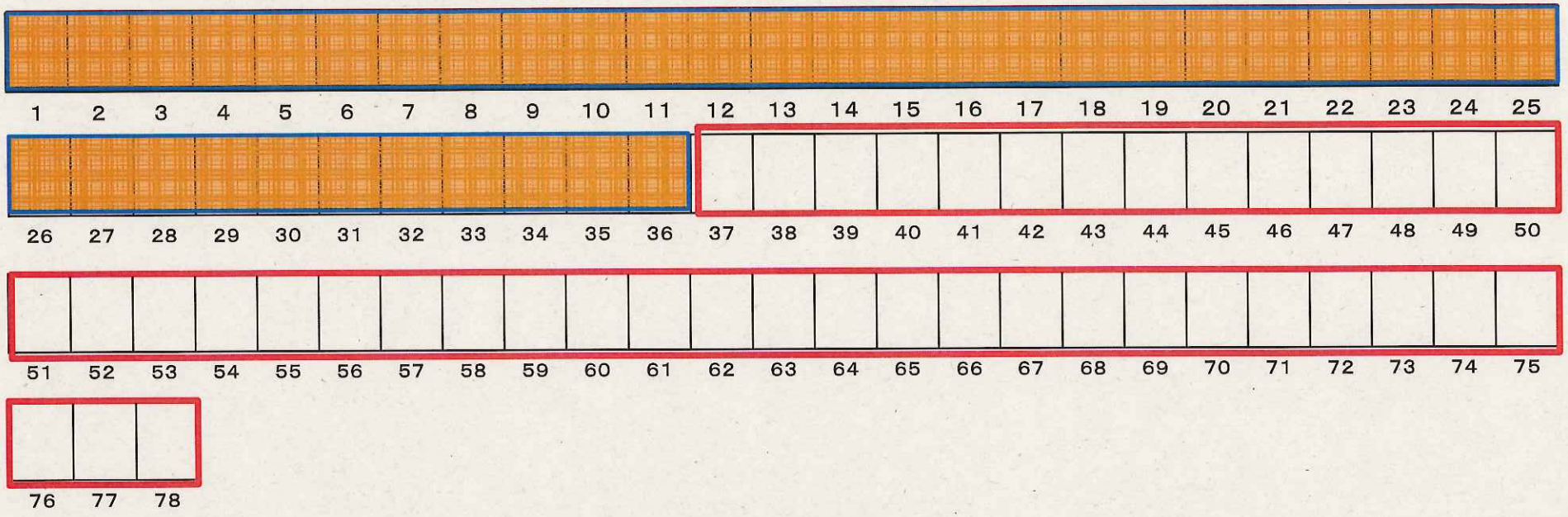
タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
５０３ （４８８）	プライオリティー	１４	
	バイタル	６３	
	ルーティン	３	
	計	８０	
		完　了	６８
		実施中	１０
		未実施	２

宿営地側溝整備　全体図



宿営地側溝構築　活動成果（１０月３日）

宿営地側溝構築



総延長距離 [redacted]

凡例

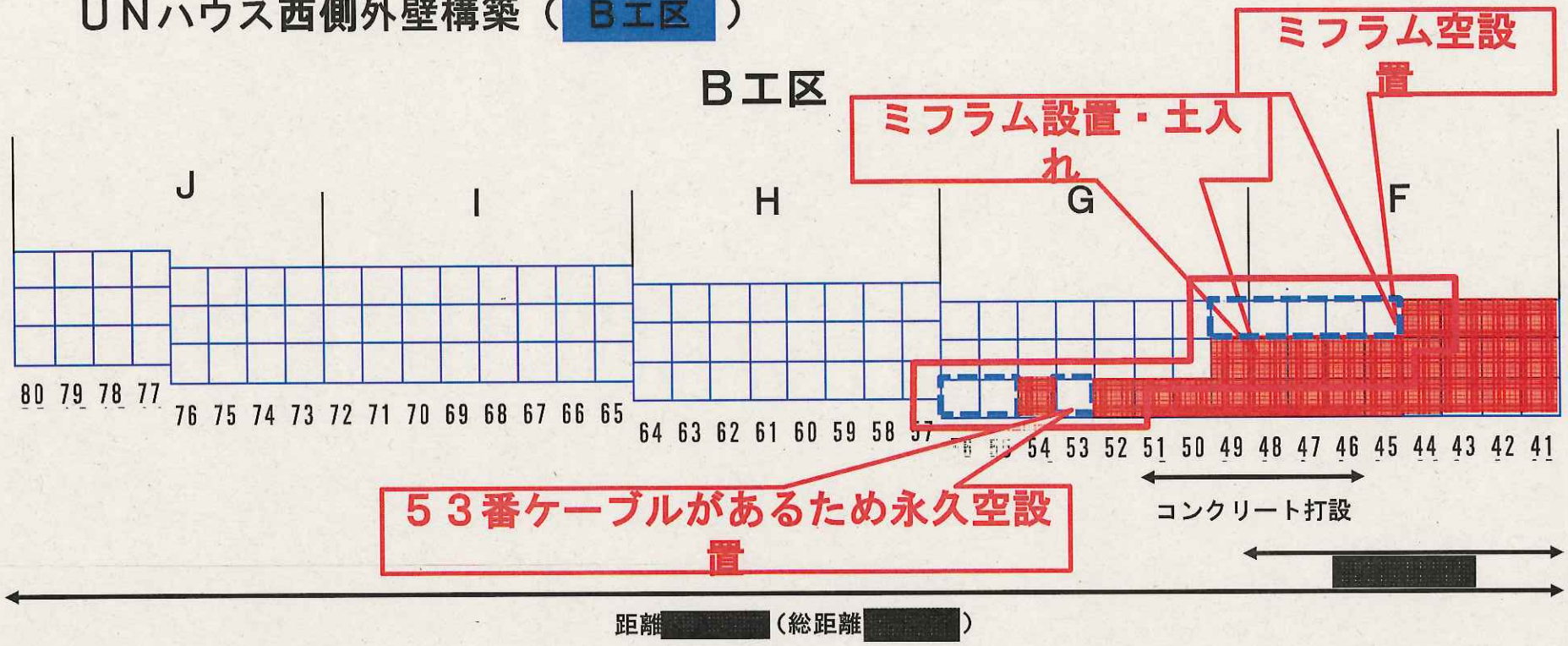
- U字溝設置完了箇所
- 本日作業箇所

成果

1　コンクリート打設（集水枡）
2　整　地

ＵＮハウス西側外壁構築 活動成果（１０月４日）

ＵＮハウス西側外壁構築（ Ｂ工区 ）



凡例

- ミフラム設置
- 型枠設置箇所
- 空ミフラム設置箇所
- コンクリート打設
- 本日作業箇所

成果

ミフラム設置 [redacted]

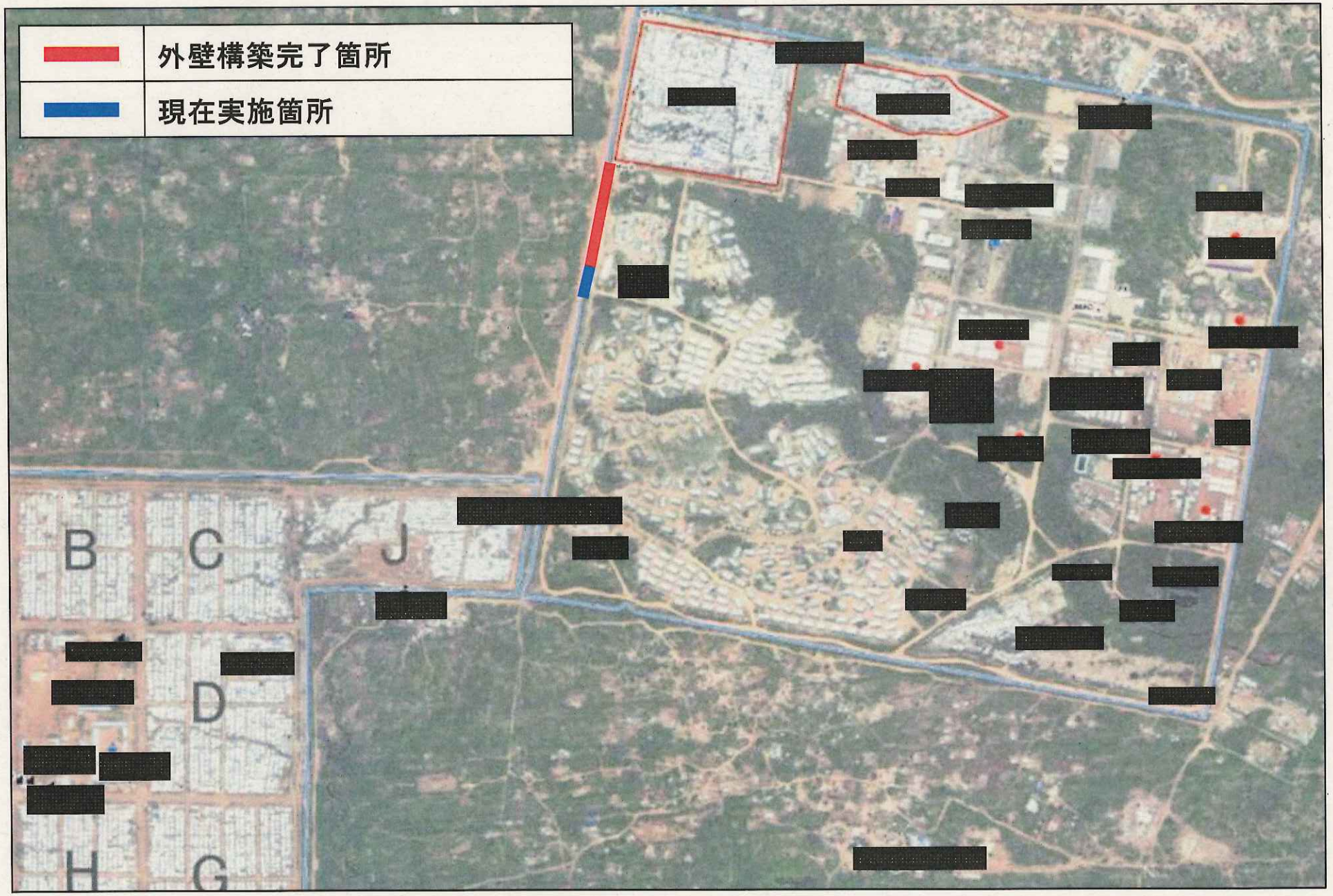
コンクリート打設

※　赤字：作業完了により変更部分

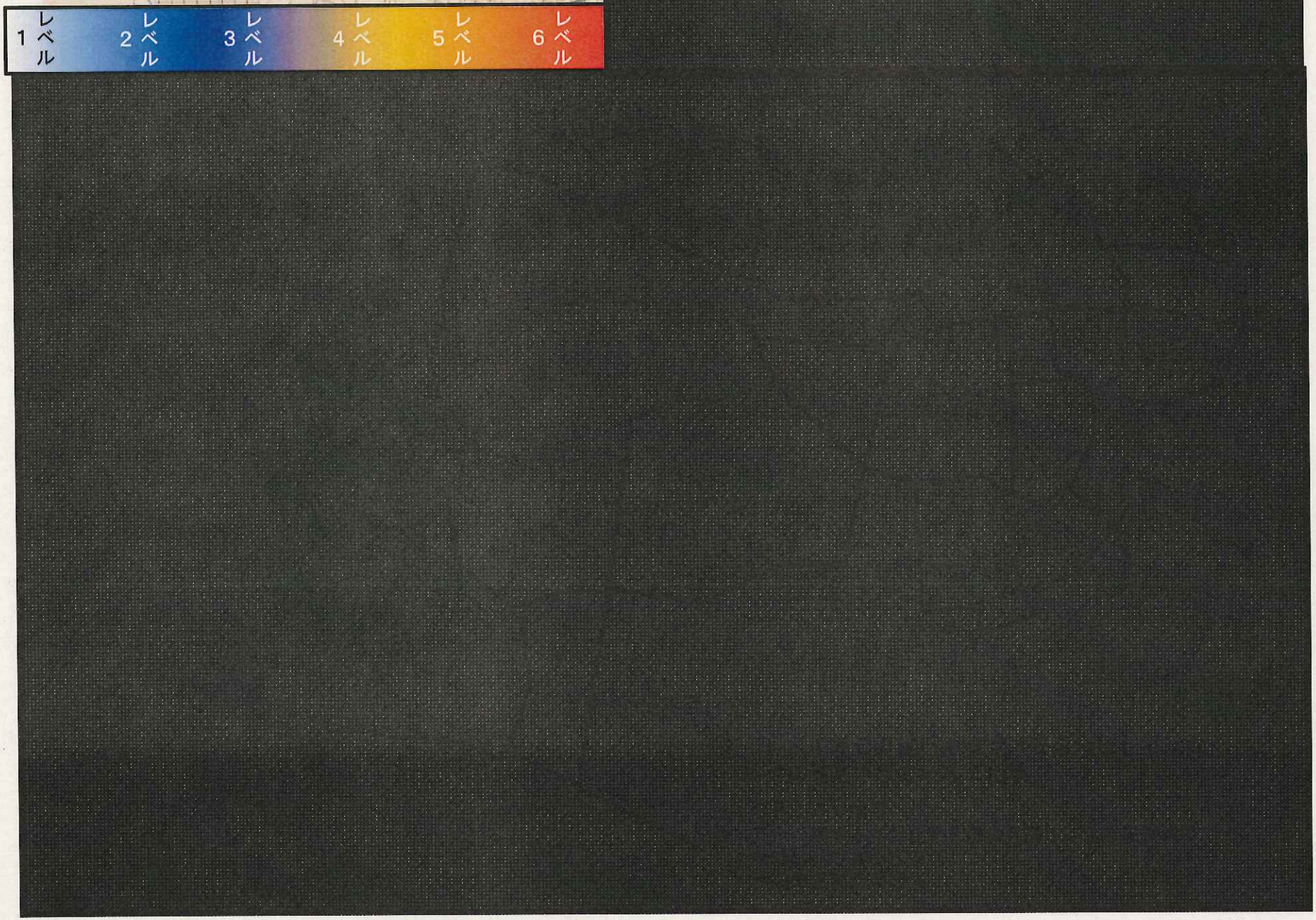
ＵＮハウス西側外壁全体図



活動概要（ＵＮハウス西側外壁構築）



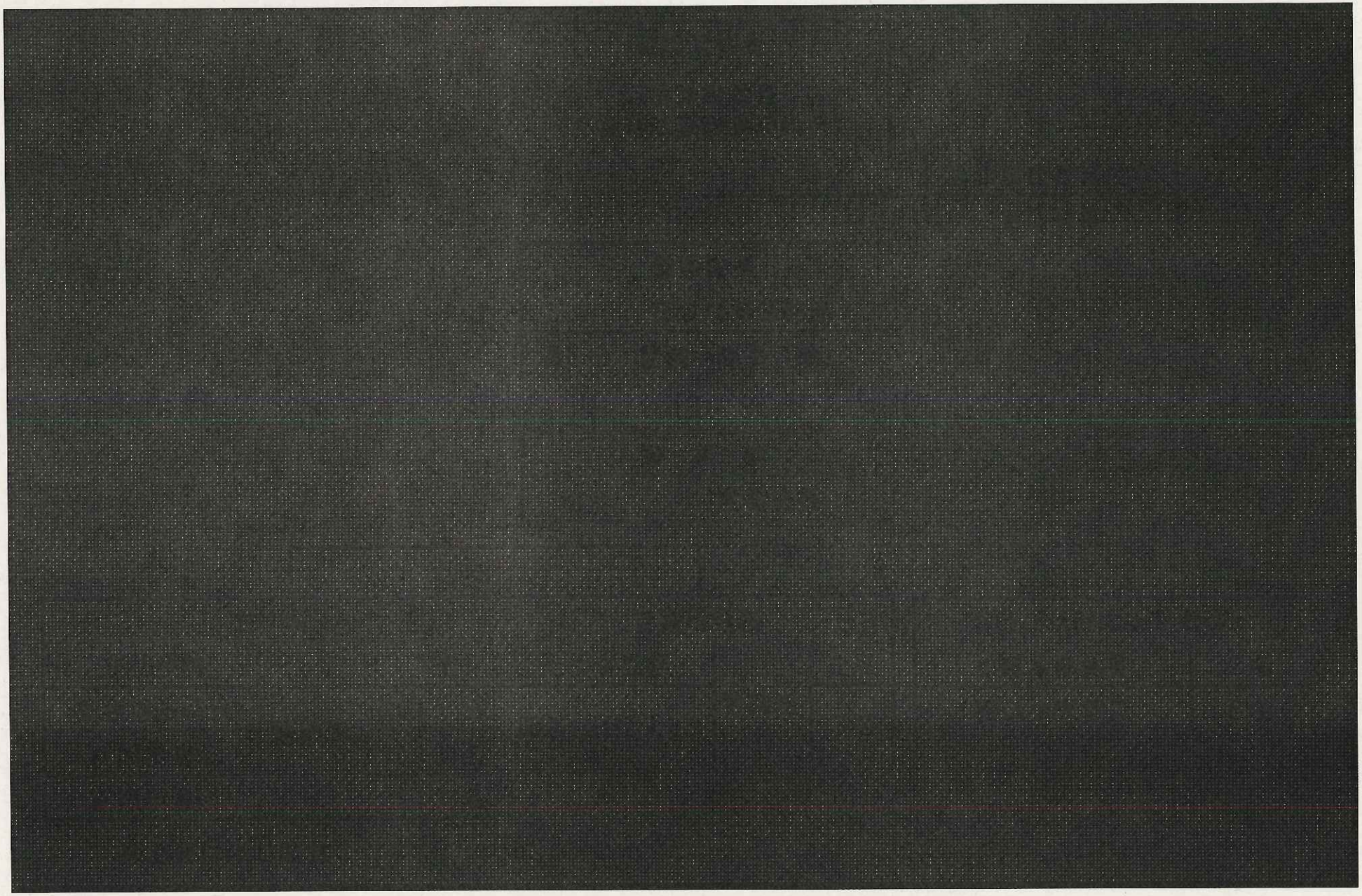
地域脅威レベル評価（１０月５日）



隊員服装・装備等基準

区　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考			

警備の態勢（[redacted]）（１０月４日１７００現在）



活動写真


UNタスク（UNトンピン）
UN
ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築
（施設器材小隊）


UNタスク（UNトンピン）
UN
英軍プレハブ構築
（第１施設小隊）


UNタスク（UNハウス）
UN
UNハウス地区西側外壁構築
（第２施設小隊）


UNタスク（UNハウス）
UNハウス地区弾薬庫増設
（第３施設小隊）